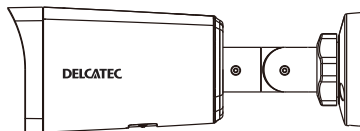
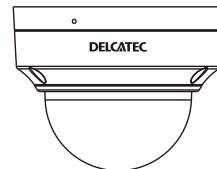


バレット型高感度 ネットワークカメラ CNE3CBFH1



ドーム型高感度 ネットワークカメラ CNE3CDFH1



はじめに

準備

設定

その他

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

本製品のホーム画面には日時が表示されますが、初期状態ではあらかじめ設定された日時が表示されます。ご使用前に、必ず日時を設定してください。

また、本製品の電源を入れ直すと日時はリセットされます。再度電源を入れた際も、必ず日時を設定してください。

- ・ この製品は犯罪防止システム品ではありません。空巢、強盗、変質者の侵入などの犯罪による損失、損傷などが発生しても、当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ・ 本書は、CNE3C シリーズのカメラ用設定ガイドです。別売のネットワークレコーダー（CNE3R シリーズ）に接続して使用するときは、弊社 Web サイトより CNE3R シリーズの設定ガイドをご確認ください。
URL: <https://www.dxantenna.co.jp/product/item/manuallmg/CNE3R423.pdf>

もくじ

はじめに

準備

運用・設定

その他

使用上のお願い	4	P2P	40
録画について	4	Eメール	41
使用上のご注意	4	SNMP	42
設置のご注意	4	802.1x	43
防水性能について	5	QoS	44
動体検知について	5	WebSocket	45
商標について	5	ビデオと音声	46
本製品の概要	6	ビデオ	46
管理画面について	7	スナップショット	47
設置方法	12	音声	48
防水加工する（屋外設置の場合など）	12	ROI	49
設置の前に	14	メディアストリーム	50
microSD カードをセットする	15	画像	52
カメラを壁または天井に固定する	16	画像	52
ホーム画面	20	OSD	61
ツールメニュー	21	プライバシーマスク	61
microSD カードにデータを保存する	22	インテリジェント	62
録画を開始する	22	スマート	62
スナップショット画像の設定をする	24	イベント	63
映像を再生する	25	標準アラーム	63
写真を管理する	27	ワンキー警戒解除	70
Web 設定画面について	28	ストレージ	72
共通	29	ストレージ	72
基本情報	29	FTP	74
ローカルパラメータ	30	セキュリティ	75
ネットワーク	32	ユーザー	75
時刻	33	ネットワークセキュリティ	75
OSD	35	登録情報	79
ユーザー	36	ウォーターマーク	80
ネットワーク	37	システム	81
ネットワーク	37	時刻	81
DNS	37	デバイス情報	81
ポート	38	メンテナンス	82
DDNS	39	ログ	84
		こんなときは	85
		使用上のご注意	89

設置上のご注意	91
このマニュアルについて	93
動作環境	94

使用上のお願い

録画について

本製品の故障や誤動作などの原因によって、microSD カードに正常に録画できなかった内容の補償、録画した内容の損失、直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

- 本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本製品は、防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
- カメラは軒下など、できるだけ雨、風や日光が直接当たらないところに設置してください。
- 停電などの外部要因によるデータの損失、その他の直接および間接的損害につきましては、弊社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品は、microSD カードを使用して映像を録画することもできます。
- 本製品の周囲温度が急激に変化した場合や 0℃以下になった場合、レンズ部がくもったり、霜が付いたりすることがあります。
- カメラのレンズやセンサーには、直接手で触れないでください。故障の原因となります。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

設置のご注意

- 本製品をセンサーライトの近くに設置しないでください。誤動作することがあります。
- 本製品は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して設置してください。

防水性能について

- 本製品のカメラには、JIS 保護等級 IP67（耐塵・耐水性）相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障するおそれがあります。
- カメラのスピーカーや、マイク孔に雨水が入ると、一時的に通話ができなくなることがありますが、故障ではありません。雨水が排出すると通常に通話ができます。
- 本製品は気密性が高いため、夏場の車内など、高温環境から常温環境に設置する場合など、急激な温度変化があった場合、一時的にカメラやセンサー部などの内部が結露する場合がありますが、しばらくすると解消します。

動体検知について

動体検知はモーションセンサー検知となります。

動体（人や動物）がいなくても検知する

- カーテン、炊飯器や電気ポットなどの蒸気を検知している
- カメラの前に動くものがある
 - 直射日光などの強い光が当たる
- エアコンの風が直接当たる
 - 不安定な場所に設置している

動体（人や動物）がいても検知しない

- カメラの前に障害物がある
 - カメラの周囲温度が高い

商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Google Chrome は Google LLC の商標または登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

 **Advance**TM
Covered by Patents at patentlist.accessadvance.com

本製品の概要

本製品は、DX アンテナ製ネットワークレコーダーの自動カメラ登録機能に対応したネットワークカメラです。本製品と DX アンテナ製ネットワークレコーダーを接続することで、すぐに利用いただくことが可能です。

●H.265 対応

従来の約 2 倍録画可能な H.265 に対応し、より長時間の録画が可能です。(H.264 との比較)

※ H.265 とは、H.264 (MPEG-4) の後継となる動画圧縮規格です。

●PoE 対応

全機種 PoE (Power over Ethernet) に対応。電源を敷設しにくい場所にも設置が可能です。

※ PoE とは、LAN ケーブルを通して、電力を供給する技術です。

●夜間カラー撮影モード

少ない光量しかない薄暗い場所でも鮮明な撮影が可能な明るいレンズ (F1.0) を採用しているため、夜間でもカラーで撮影できます。また、カラーで撮影できないような暗い場所ではウォームライトが点灯します。

●防水防塵

保護等級 IP67 に適合した防水防塵タイプで、屋外での撮影も可能です。

●CMOS センサー

高画質 CMOS センサーを搭載し、高精細な Full HD 映像を撮影可能です。

●デイ/ナイトモード

ウォームライトを備えており、夜間や暗い場所でも被写体をクリアに撮影できるデイ/ナイトモードを搭載しています。自動に設定すると、周囲の明るさを感知して自動的にウォームライトの点灯/消灯が切り替わります。

●動体検知録画対応

常時録画のほかに、撮影映像に動きがあった場合に自動で録画を開始する動体検知録画に対応しています。

●ネットワークレコーダーのモニターからも設定可能

カメラの設定はネットワークレコーダーに繋がるモニター画面からも簡単に変更可能です。

●microSD カードスロット

本体に microSD カードスロットを搭載し、microSDHC/microSDXC メモリーカードを挿入することで録画映像を保存可能です。(補助的な録画先としてのみお使いいただけます。)

microSD カードの種類	microSD カード容量
microSDHC/microSDXC メモリーカード (クラス 10 以上)	最大 512GB

重要 カメラを屋外に設置している場合、夏季に本製品内部が非常に高温となるため、耐久性の高い microSD カードを使用することを推奨します。

●本書に記載されているイラスト、画面などは開発中のものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

管理画面について

- 本製品をネットワークレコーダーに接続して使用する場合、カメラの設定は基本的にネットワークレコーダーの管理画面から行ってください。管理画面の表示の仕方は➡ 88 ページをお読みください。
- ネットワークレコーダーに接続しない場合や、ネットワークレコーダーでは設定できない一部機能（microSD カード関連など）を利用する場合のみ、カメラの管理画面で設定してください。
- 本製品の管理画面は、LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザからアクセスします。

重要 Web 設定画面で設定を保存した後、1 分以内にカメラの電源をオフ（LAN ケーブルを抜く）にしないでください。変更した設定値が内部不揮発性メモリへ正しく保存されない場合があります。

Web 設定画面で「保存」のボタンを押すと、「パラメータの設定に成功しました」の表示が出て、設定内容は即時反映されますが、不揮発性メモリへの設定変更内容の書き込みは、その後約 1 分経過後に実行されます。

カメラの電源をオフにする（LAN ケーブルを抜く）場合は、最後の設定変更を行ってから 1 分以上経過した後に実施してください。

ネットワークレコーダー（別売品）に接続しない場合

CNE3R シリーズのネットワークレコーダー（別売品）を使用しないで、管理用 PC から録画設定や録画データの再生などを行うことができます。

- 本製品に AC アダプターを接続し、電源を入れます。
- LAN ケーブルを接続して、管理用 PC 上のウェブブラウザからアクセスします。
- カメラ単独で PC と直接接続している場合に設定してください。

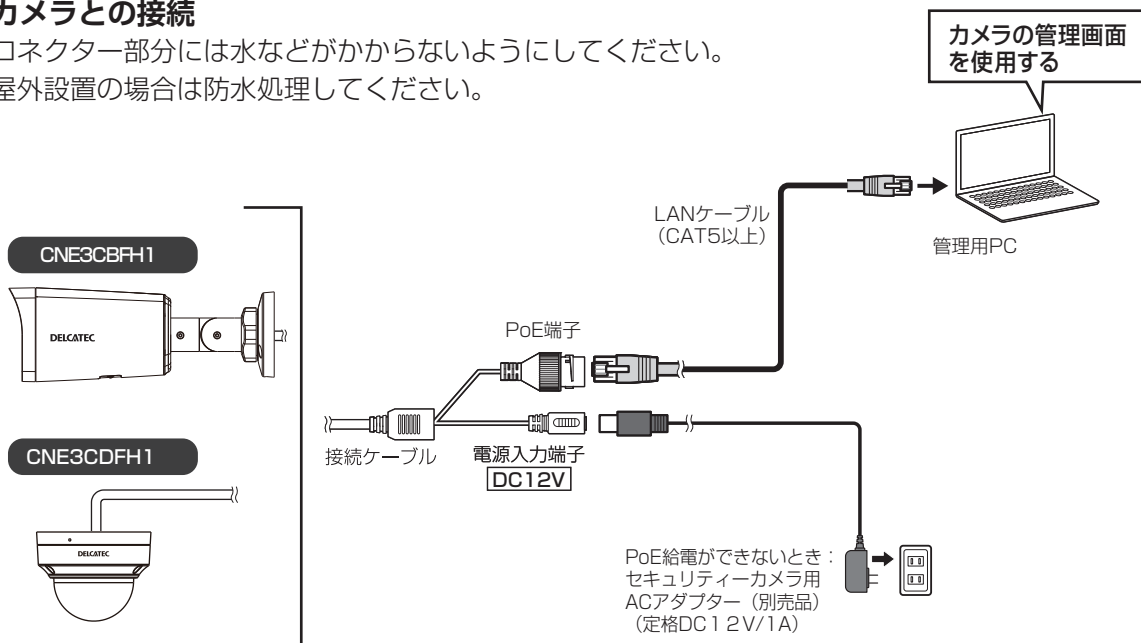
接続のしかた（接続例）

- 🔧 PoE ハブが使用できないなどで、PoE 給電ができないときは、別売のセキュリティーカメラ用 AC アダプターを使用してください。
- 別売の AC アダプターについては下記 URL より D サポ！をご確認ください。
https://qa.dxantenna.co.jp/faq_list.html?page=1&category=127

【工場出荷時のカメラを管理用 PC へ接続する例】

カメラとの接続

コネクター部分には水などがかからないようにしてください。
屋外設置の場合は防水処理してください。

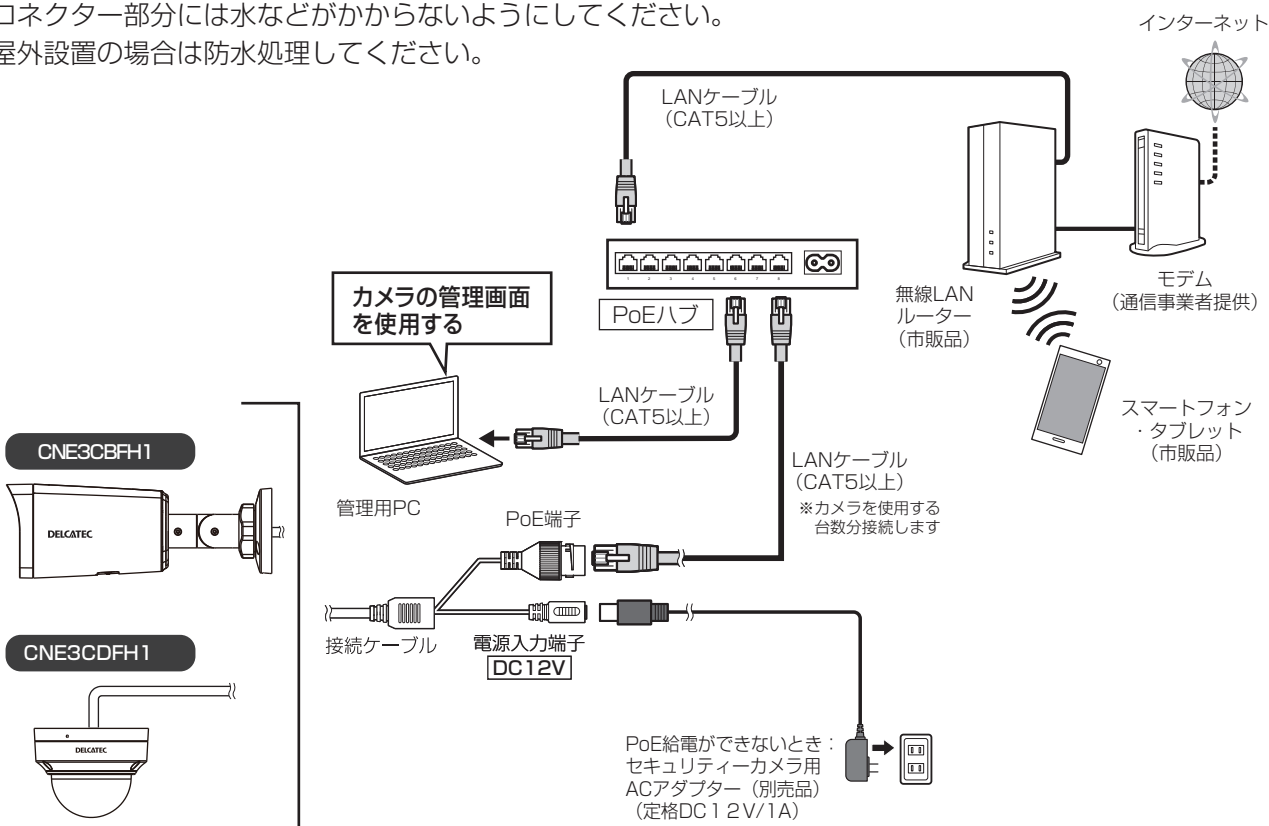


【インターネット回線を使った接続例】

本製品をインターネット回線に接続している無線 LAN ルーターや、PoE ハブなどに接続することによってスマートフォン・タブレットで遠隔監視をすることができます。
本製品を接続する前に、ご使用になる環境でインターネットが利用できること確認してください。

カメラとの接続

コネクター部分には水などがかからないようにしてください。
屋外設置の場合は防水処理してください。



重要 音声端子、アラーム端子を使用する場合

- コネクタのゆるみ防止としてテープを巻くなどの処置をしてください。
- 屋外で使用する場合は、音声端子、アラーム端子に適切な防水処理を施してください。

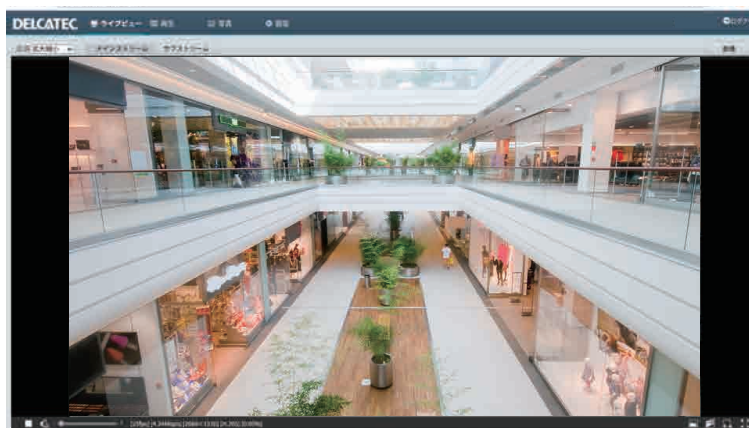
カメラ単独で使用する場合は

カメラ単独で接続する場合は、別途 PoE 対応スイッチングハブ等の機器が必要です。

PoE 対応スイッチングハブについて

- PoE 対応スイッチングハブに LAN ケーブルをすばやく抜き差しすると、本製品に電源が供給されない場合があります。再接続する際には 2 秒以上間隔を空けてください。
- PoE 電源容量は製品の最大電力値※を確保してください。
- ELECOM 製品の PoE 対応スイッチングハブ (EHB-UG2D08-PL) で動作を確認しています。PoE 対応スイッチングハブにはこの製品か、同等の電力を供給できる製品をご利用ください。

ホーム画面が表示されます。

**重要** 本製品をネットワークレコーダーに接続して使用する場合は、カメラの設定は基本的にネットワークレコーダーの管理画面から行ってください。

管理画面の表示の仕方は➡ 88 ページをお読みください。

- ネットワークレコーダーに接続しない場合や、ネットワークレコーダーでは設定できない一部機能 (microSD カード関連など) を利用する場合のみ、カメラの管理画面で設定してください。



- [最新のプラグインをダウンロードしてインストールするには、...] という黄色い帯が表示されたら、クリックし、画面の案内に従ってプラグインをインストールしてください。

※ プラグインをインストールする際、ご利用の環境により文字化けしたエラーメッセージが表示される場合があります。

- [すでに古いバージョンの Surveillance Viewer がインストールされているため、このバージョンをインストールできません。「コントロールパネル」の「アプリと機能」を使用してインストール済みの Surveillance Viewer を削除してください。]

このエラーメッセージが表示された場合は、ブラウザをいったん閉じ、Surveillance Viewer プラグインを削除してから、再度ログイン・プラグインのインストールをお試しください。

●プラグインのインストール

プラグインのインストール使用するブラウザによってインストール方法は異なります。

Microsoft Edge の場合

①黄色のタブをクリックします。



②ダウンロードが表示されます。

ダウンロードの表示



③そのほかのアクションをクリックします。

クリックする



④「保存」をクリックします。

「保存」をクリックする



⑤「詳細表示」をクリックします。

「詳細表示」をクリックする



⑥「保存する」をクリックします。

「保存する」をクリックする



⑦ダウンロードファイルをクリックして解凍します。

クリックする

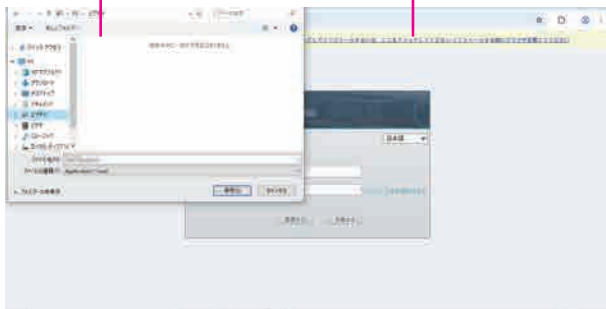


Google Chrome の場合

①黄色のタブをクリックします。

②保存場所を選択します。

②保存場所を選択 ①クリック



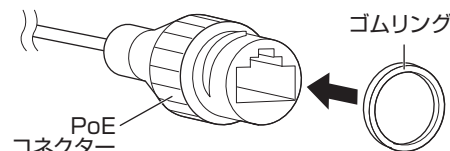
設置方法

防水加工する（屋外設置の場合など）

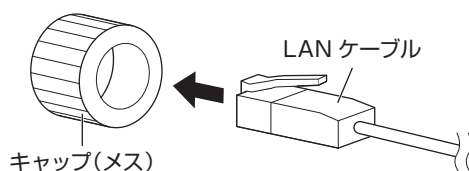
ケーブルに水がかかる可能性がある場所に設置する場合には、必ず防水加工をお願いします。
本製品と LAN ケーブルの接続部に付属の防水対策用部品セットを以下のように取り付けてください。

重要 屋外などケーブルに水のかかる可能性がある場所に設置する場合には、使用しない端子やケーブルを自己融着テープとビニルテープで防水加工してください。

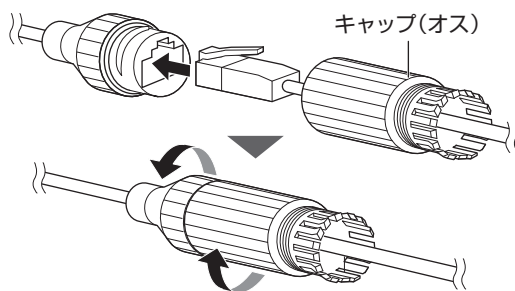
- 1 ゴムリングを PoE コネクターの奥までしっかり取り付けます。



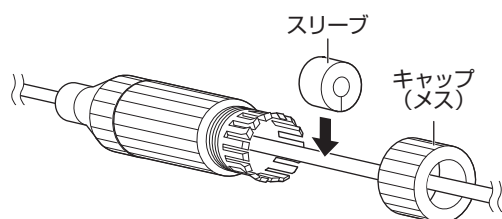
- 2 LAN ケーブルにキャップ（メス）を通します。
※ LAN ケーブルは必ずブーツ（保護カバー）の無いものをお使いください。



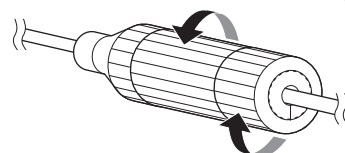
- 3 LAN ケーブルにキャップ（オス）を通し、PoE コネクターに LAN ケーブルを接続してから、PoE コネクターとキャップ（オス）の溝を合わせてしっかりと締め付けます。



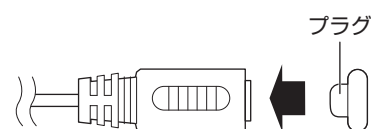
- 4 キャップ（オス）とキャップ（メス）の間にスリーブを取り付けます。
※ スリーブには切れ目がありますので上から被せて通すことができます。



- 5 キャップ（オス）とキャップ（メス）をしっかりと締め付けます。

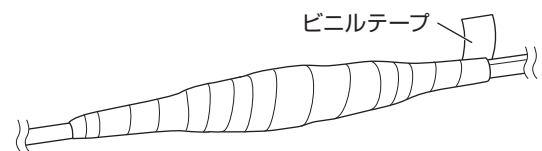
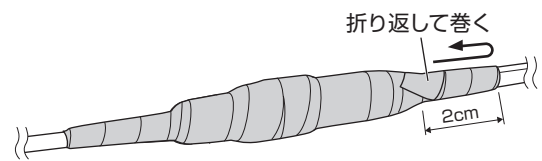
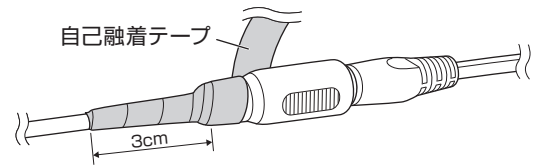
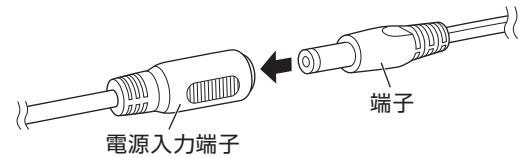


- 6 DC ケーブルを使用しない場合は、電源入力端子の端子部分にプラグを差し込みます。
※ プラグは防水対策用部品セットの袋に入っています。



電源入力端子と AC アダプタの端子を防水加工する

- 1 電源入力端子に AC アダプタの端子を差し込みます。
- 2 端子の末端から 3cm 程度手前のところから自己融着テープ（市販品）を巻き始めます。
※テープは、長さ 1.5 倍に引張りながら、幅の 1/2 が重なるように巻いてください。
- 3 反対側の端子末端から 3cm 程度のところまで巻き終わったら、そこから約 2cm 程度折り返して巻いてください。
巻き終わったら指でおさえて圧着してください。
- 4 その上に、ビニルテープ（市販品）をすき間のないように巻き付けます。



設置の前に

カメラを取り付ける前に以下の内容について確認してください。(➡91 ページ「設置上のご注意」の内容も必ずお読みください)

- カメラの総重量や振動、付随する部品の総重量などに十分に耐えられる強度がある場所を確保してください。やむを得ず強度が不十分な場所へ取り付ける場合は十分な補強を施してください。
- LAN ケーブルなど必要なケーブルをカメラ設置場所まで配線します。
- 金属製または木製の壁や天井などに取り付ける場合
 - ・カメラを取り付けた後のカメラの向きを確認してください。
 - ・万が一カメラが落下した際に害がない位置に取り付けているのかどうかを確認してください。
 - ・安定した位置にカメラの固定ネジが取り付けられるかどうかを確認してください。
- その他の壁や天井に取り付ける場合金属または木製のボード（例えばモルタルや石膏ボード）については十分な補強を施して設置してください。

重要

- けが防止のため、必ず手袋を着用して作業を行ってください。
- microSD カードへの録画を利用する場合、設置は microSD カードの挿入後に行ってください。(microSD カード搭載モデルのみ)
- ネジ類は必ず添付のものを使用してください。

microSD カードをセットする

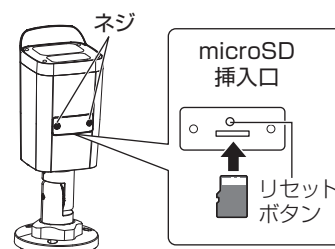
microSD カードは本体を設置する前にセットしてください。

- 本製品は microSD カードのホットスワップに対応していません。
- microSD カードを交換する場合は、いったん本製品の LAN ケーブルをはずして電源を切ったうえで交換してください。
- 交換後は、もう一度 LAN ケーブルを接続してカメラの起動を確認してから、管理画面上で microSD カードのフォーマットを実行してください。フォーマットの仕方は、▶ 22 ページ「録画を開始する」をお読みください。

重要 カメラを屋外に設置している場合、夏季に本製品内部が非常に高温となるため、耐久性の高い microSD カードを使用することを推奨します。

CNE3CBFH1 の場合

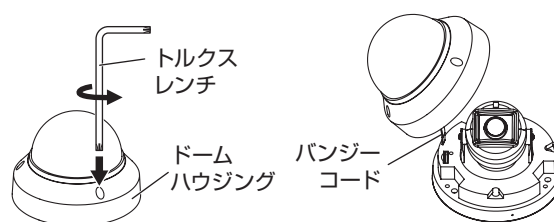
- 1 本体底部の右図位置にあるネジ2本を緩めてカバーをはずします。
- 2 microSD カードを右図の向きで挿入します。
- 3 カバーを閉めてネジで固定します。



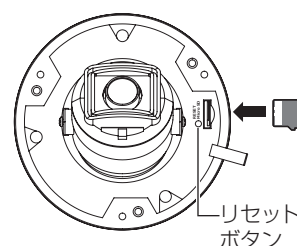
重要 カバーのねじはきつく締めすぎないようにご注意ください。電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。

CNE3CDFH1 の場合

- 1 付属のトルクスレンチで右図位置の3本のネジを緩めて本体からはずします。
 - ※ ネジはドームハウジングからはずれません。
 - ※ ドームハウジングと本体は落下防止のため、バンジークードで繋がっています。



- 2 microSD カードを右図の向きで挿入します。



- 3 ドームハウジングを閉めてネジで固定します。

重要 ドームハウジングのねじはきつく締めすぎないようにご注意ください。電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。

カメラを壁または天井に固定する

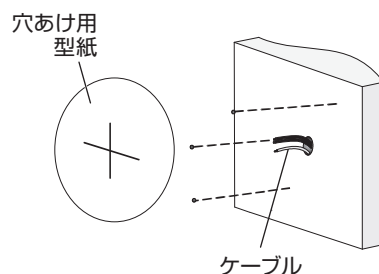
重要 カメラを設置するには以下の内容に注意してください。

設置にあたり、危険な状態が予想される場合は、ただちに作業を中止し、必ず安全を優先した対応を行ってください。

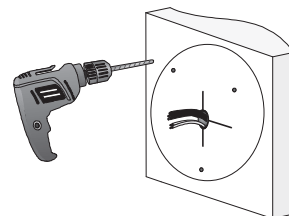
- 故障の原因となるため、製品のカバーをはずした際や設置の際は、静電気に十分注意して取り付けてください。
- 製品に酸やアルカリが付着しないよう注意してください。付着した場合は、速やかにふき取ってください。
- ほこりが付着した際は、眼鏡ふきのような柔らかい布でレンズに傷をつけないように注意してふき取ってください。
- カメラを設置するときには、落下防止ケーブルなどで機器が地面に落下しないようにしてください。落下させると破損や故障の原因になります。また設置作業に必要な十分な場所の確保をしてください。
- 屋外設置の場合は、ベース部の溝（切り欠き）が下向きになるように設置してください。

CNE3CBFH1 の場合（壁面取付けの例）

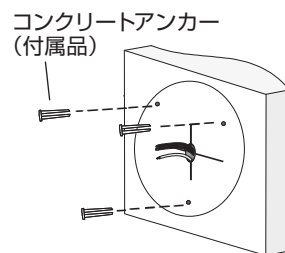
- 1 穴あけ用型紙の中心を壁のケーブル用穴に合わせて貼り付け、穴にケーブルを通します。



- 2 穴あけ用型紙の穴位置に、 $\phi 6 \sim 6.5\text{mm}$ のドリルで 30mm の深さのガイド穴をあけます。

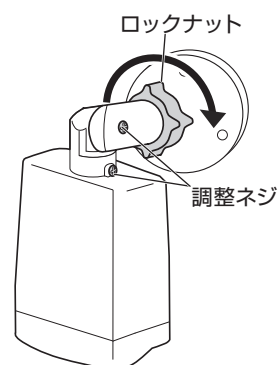


- 3 コンクリートアンカー（付属品）3本をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。



- 4 カメラを壁面に取り付ける前に、ロックナットと右図 2 か所の調整ネジを緩め、ネジで固定しやすいようにカメラの角度を調整します。

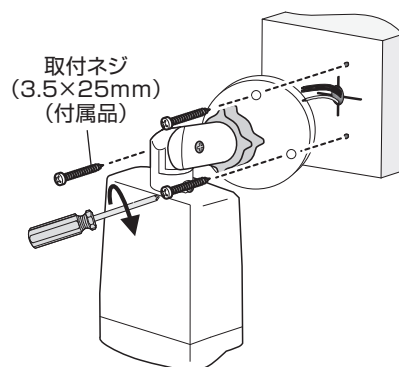
※詳細なカメラ角度の調整は、カメラ固定後、手順 6 でおこないます。



5 すべてのケーブルを接続し、カメラを壁面に取り付けます。穴あけ用型紙の穴位置とベースの穴位置を合わせて、取付ネジ（付属品）3本をドライバーで締め付けて固定します。

※ベースの切り欠きが下向きになるようにして、穴位置を決めてください。

※外部配線の場合はベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。



6 カメラの方向を調整します。

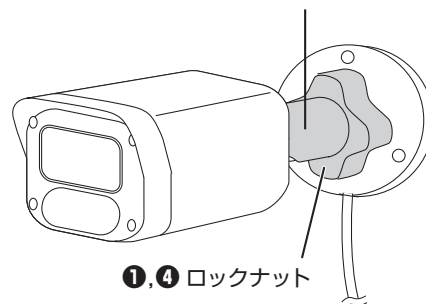
1) ロックナット (①) を緩めるとユニバーサルジョイントを回転させることができます (②)。

2) 右図位置にある2か所の調整ネジを緩めると、カメラの角度や方向を調整することができます (③)。カメラを目的の監視方向に向けます。

3) 調整した角度や方向がずれないように注意しながら、ロックナットおよび調整ネジをしっかりと締め付けます (④)。

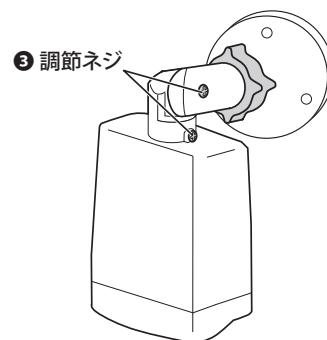
※締め付けすぎによる破損の恐れがあるため、ロックナットの締め付けにはモンキーレンチなどの工具は使用しないでください。

② ユニバーサルジョイント



①, ④ ロックナット

③ 調節ネジ



7 カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を微調整してください。

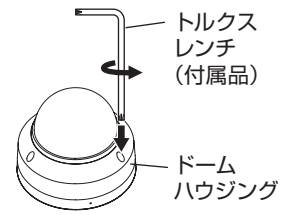
CNE3CDFH1 の場合（天井取付けの例）

1 ドームハウジングをはずします。

本機を設置するにはドームハウジングを開ける必要があります。トルクスレンチ（付属品）で右図位置の3本のネジを緩めて本体からはずします。

※ネジはドームハウジングからはずれません。

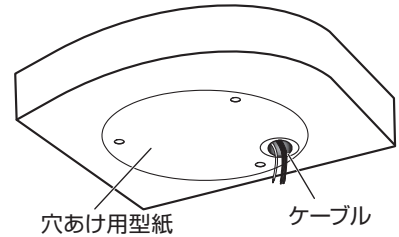
※ドームハウジングと本体は落下防止のため、バンジーコードで繋がっています。



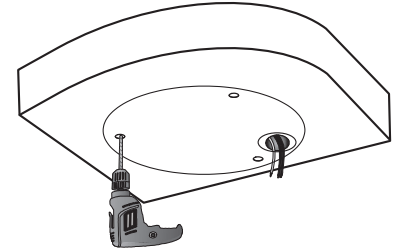
2 カメラを取り付ける位置を決め、穴あけ用型紙を天井に貼り付けます。カメラから出ているケーブルの位置に合わせて穴をあけ、ケーブルを通します。

※必要に応じてベースの切り欠きにケーブルを通して配線してください。

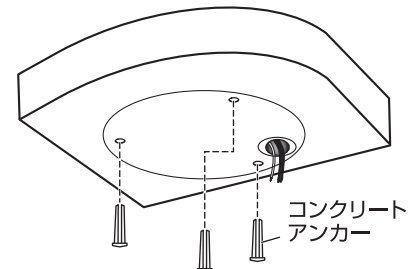
※壁面に取り付ける場合は、ベースの切り欠きが下向きになるように設置してください。



3 穴あけ用型紙の穴位置に、φ6～6.5mmのドリルで30mmの深さのガイド穴をあけます。



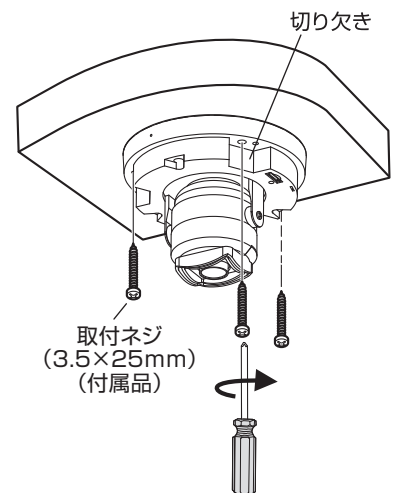
4 コンクリートアンカー（付属品）3本をガイド穴に打ち込み、しっかりと固定されていることを確認します。



5 カメラを取り付けます。

天井とカメラのすべてのケーブルを接続し、ガイド穴に合わせて取付ネジ（付属品）3本をドライバーで締め付けて、カメラを固定します。

※必要に応じて本体の切り欠きにケーブルを通して配線してください。



6 レンズの方向を調整します。

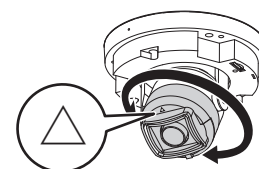
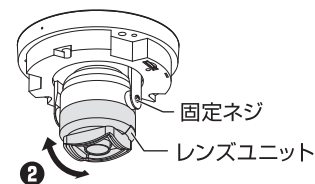
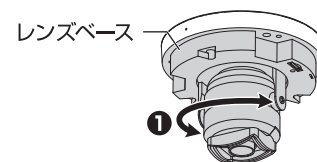
水平方向に調整する場合は、レンズベース部分を回転させます (①)。
垂直方向に調整する場合は、左右の固定ネジを少し緩め、レンズユニット部の角度を調整します (②)。

調整後、緩めた固定ネジを締め付けてください。

固定ネジはきつく締めすぎないようにご注意ください。電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。

レンズユニット部にある「△」の刻印が、映像での上方向になるようレンズユニット部を回転させます。

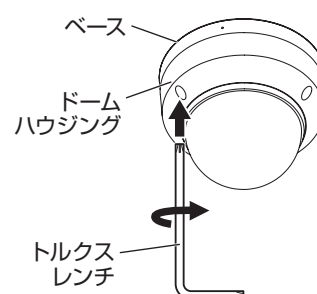
重要 レンズベースやレンズユニットが回らなくなったら回転を止めてください。無理に動かすとレンズや可動部が損傷する可能性があります。



7 ドームハウジングを元通りに取り付けます。

ドームハウジングとベースのネジ穴の位置を合わせ、ドームハウジングのネジ 3 本を締めて固定します。

8 カメラの電源を入れ、画像を確認の上、角度や方向等を確認してください。



ホーム画面

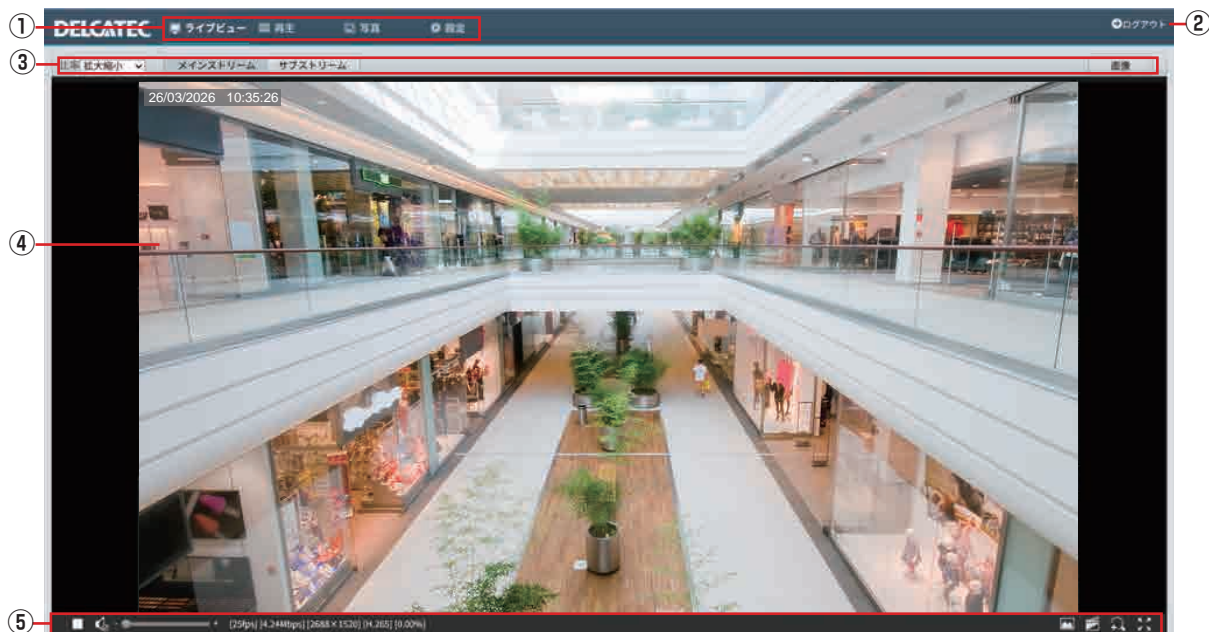
はじめに

準備

運用・設定

その他

接続しているカメラのライブビューやメインメニューなどが表示されます。



番号	項目	内容	
①	メインメニュー	ライブビュー	ライブビュー画面を表示します。
		再生	映像再生画面を表示します。 ➡ 25 ページ「映像を再生する」
		写真	[設定] → [ビデオと音声] → [スナップショット] でスケジュールを設定し、スナップショットを有効にすると、[CommonServer] → [SnapshotPicture] に記録された日付・時刻のファイルが生成され、その中の画像を表示、およびファイルの書き出しができます。
		設定	設定画面を表示します。 ➡ 28 ページ「Web 設定画面について」
②	ログアウト	管理画面からログアウトします。	
③	映像メニュー	比率	映像の表示方法を設定します。 拡大縮小： 画面の縦または横のサイズに合わせて映像を拡大・縮小します。余白部分は黒色表示されます。 伸縮： 画面サイズに合わせて映像を縦横それぞれ伸縮します。 オリジナル： 拡大・縮小せずにそのまま表示します。
		メインストリーム／サブストリーム	ストリーム表示を切り替えます。
		画像	画像設定画面を表示、画質の調整を行います。
④	ライブビュー	カメラの現在の映像が表示されます。	
⑤	ツールメニュー	➡ 21 ページ「ツールメニュー」	

ツールメニュー



番号	項目	内容
①		撮影中の映像の再生／停止を切り替えます。
②		<p>スピーカー音量を調節します。 スピーカーアイコンをクリックすると、スピーカーのオン／オフを切り替えられます。</p> <p> 使用しているパソコンのスピーカーレベルを調整します。 マイクが搭載されているカメラ近辺の音を拾うと、パソコン側で聞くことができます。</p>
③		<p>スナップショットを撮影します。</p> <p> スナップショットは、[設定]メニューから [共通] - [ローカルパラメータ] - [録画・スナップショット] - [フォルダ] で設定されているフォルダ内に、「Snap ¥ (IP アドレス) ¥ (撮影された日付)」のフォルダが作成され、その中に保存されます。</p> <p>■保存場所例 C:\Users\[ユーザー名]\WebPlugin_IPC\IPCNB\Snap\ 192.168.1.13\2026-03-25</p>
④		<p>録画データを管理用 PC に保存します。 (再度クリックすると録画を終了します)</p> <p> 録画データは、[設定]メニューから [共通] - [ローカルパラメータ] - [録画・スナップショット] - [フォルダ] で設定されているフォルダ内に、「Record ¥ (IP アドレス) ¥ (撮影された日付)」のフォルダが作成され、その中に保存されます。</p> <p>■保存場所例 C:\Users\[ユーザー名]\WebPlugin_IPC\IPCNB\Record\ 192.168.1.13\2026-03-25</p>
⑤		映像を拡大表示します。(再度クリックすると拡大表示を終了します) アイコンをクリックした後、マウスで拡大する範囲を指定します。
⑥		映像を全画面表示します。 ESC キーを押すと元の画面に戻ります。

microSD カードにデータを保存する

カメラにセットした microSD カードにビデオ映像を保存することができます。

- 本製品の電源をオフにするときは、必ず SD カード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、SD カードのデータが破損する可能性があります。
- SD カードのデータが破損して見るができなくなった場合は、SD カードを再フォーマットしてください。

録画を開始する

1 カメラに microSD カードをセットします。

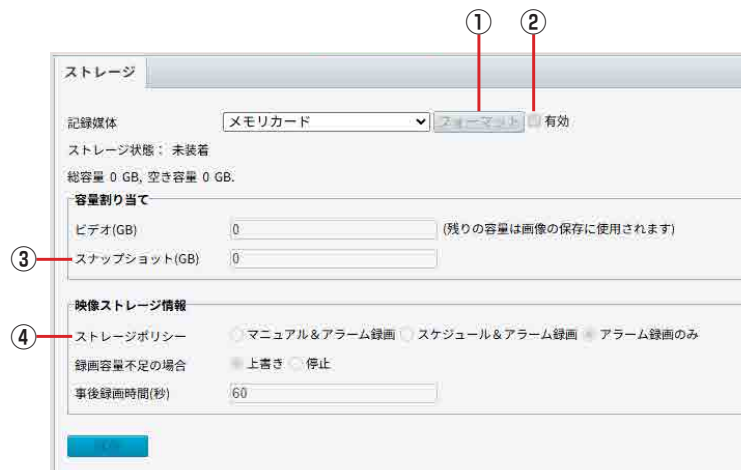
セット方法はカメラによって異なります。➔ 15 ページ「microSD カードをセットする」

microSD カードの種類	microSD カード容量
microSDHC/microSDXC メモリーカード (クラス 10 以上)	最大 512GB

- 重要**
- 本製品は microSD カードのホットスワップに対応していません。microSD カードのセットは、カメラの電源をオフにした状態で行ってください。
 - カメラを屋外に設置している場合、夏季に本製品内部が非常に高温となるため、耐久性の高い microSD カードを使用することを推奨します。

2 管理画面から [設定] - [ストレージ] - [ストレージ] をクリックします。

3 ストレージ画面が表示されますので、以下を設定します。



① 必要に応じてフォーマットを実行します。

- 初めて本製品で microSD カードを使用する場合は、フォーマットを実行してください。
- フォーマットを実行すると、microSD カード内に保存されていたデータはすべて消去されます。
- [フォーマット] をクリックすると、フォーマットが実行されます。
- フォーマットが完了すると、システムが再起動します。

② [有効] にチェックを入れます。

録画設定が有効になります。

③ 録画映像に割り当てる容量を設定します。

録画映像について

「再生」から録画ダウンロードを実施することで、イベント録画映像を ts ファイルとして保存することができます。microSD カードに保存されているファイルを直接 PC で確認する場合は、Guard Player をご利用ください。Windows Media Player 等では再生できません。

通常は表示される最大値のままご利用ください。スケジュールで撮影されたスナップショットは microSD カードに保存されます。ファイルの書き出しを実施することで、jpg ファイルとして PC に保存できます。

④ 録画設定を行います。

項目	内容						
ストレージポリシー	録画方式として「マニュアル&アラーム録画」、「スケジュール&アラーム録画」、「アラーム録画のみ」のいずれかを選択します。						
	<table border="1"> <tr> <td>マニュアル&アラーム録画</td> <td>常時映像を録画します。</td> </tr> <tr> <td>スケジュール&アラーム録画</td> <td>設定したスケジュールに応じて録画をします。録画スケジュールを設定していないときに、設定したイベントアラームが発生すると、録画を開始します。選択するとスケジュール編集ウィンドウが表示されるので、スケジュール設定を行います。 ➡ 66 ページ「スケジュール編集ウィンドウ」</td> </tr> <tr> <td>アラーム録画のみ</td> <td>設定したイベントアラームが発生したときだけ、録画を開始します。</td> </tr> </table>	マニュアル&アラーム録画	常時映像を録画します。	スケジュール&アラーム録画	設定したスケジュールに応じて録画をします。録画スケジュールを設定していないときに、設定したイベントアラームが発生すると、録画を開始します。選択するとスケジュール編集ウィンドウが表示されるので、スケジュール設定を行います。 ➡ 66 ページ「スケジュール編集ウィンドウ」	アラーム録画のみ	設定したイベントアラームが発生したときだけ、録画を開始します。
	マニュアル&アラーム録画	常時映像を録画します。					
	スケジュール&アラーム録画	設定したスケジュールに応じて録画をします。録画スケジュールを設定していないときに、設定したイベントアラームが発生すると、録画を開始します。選択するとスケジュール編集ウィンドウが表示されるので、スケジュール設定を行います。 ➡ 66 ページ「スケジュール編集ウィンドウ」					
アラーム録画のみ	設定したイベントアラームが発生したときだけ、録画を開始します。						
ストリーム	録画するストリームを選択します。						
録画容量不足の場合	上書き 容量が満杯になると、古い録画データを消去して新しい録画データを上書きします。 停止 容量が満杯になると、録画を停止します。						
事後録画時間 (秒)	アラームによる録画の場合に、アラームが終了してから録画が継続する時間の長さを設定します。						

4 「保存」をクリックして録画を開始します。

- 重要** Web 設定画面で設定を保存した後、1 分以内にカメラの電源をオフ (LAN ケーブルを抜く) にしないでください。
変更した設定値が内部不揮発性メモリへ正しく保存されない場合があります。
Web 設定画面で「保存」のボタンを押すと、「パラメータの設定に成功しました」の表示が出て、設定内容は即時反映されますが、不揮発性メモリへの設定変更内容の書き込みは、その後約 1 分経過後に実行されます。
カメラの電源をオフにする (LAN ケーブルを抜く) 場合は、最後の設定変更を行ってから 1 分以上経過した後に実施してください。

スナップショット画像の設定をする

スナップショットの撮影スケジュールや解像度の設定などができます。
撮影したスナップショットは microSD に保存されます。

- 1 スナップショットの設定をします。
管理画面から [設定] - [ビデオと音声] - [スナップショット] をクリックします。
- 2 [スナップショット] 画面が表示されますので、以下の情報を入力します。

- ① [スナップショット] を [ON] に設定します。
- ② 必要に応じて解像度やサイズ、スケジュールを設定します。

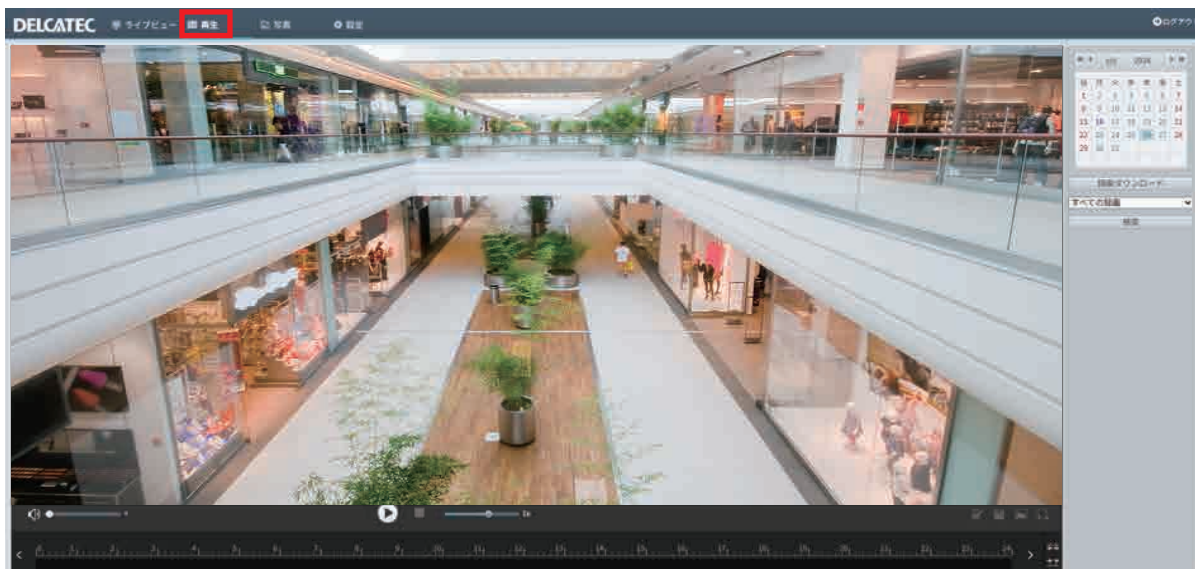
項目	内容									
解像度	スナップショット画像の解像度を設定します。									
最大サイズ (KB)	スナップショット画像 1 枚あたりの最大サイズを指定します。									
スナップショット スケジュール → 47 ページ	<table border="1"><tr><td>スナップショットの間隔 (秒)</td><td>スナップショットを連続して撮影する間隔を設定します。</td></tr><tr><td>スナップショット枚数</td><td>一度に撮影するスナップショットの枚数を設定します。(1 ~ 3 枚)</td></tr><tr><td rowspan="2">スナップショットモード</td><td>スケジュール</td><td>スナップショットを撮影する時刻を設定します。</td></tr><tr><td>リピート</td><td>一定の時間ごとにスナップショットを撮影します。</td></tr></table>	スナップショットの間隔 (秒)	スナップショットを連続して撮影する間隔を設定します。	スナップショット枚数	一度に撮影するスナップショットの枚数を設定します。(1 ~ 3 枚)	スナップショットモード	スケジュール	スナップショットを撮影する時刻を設定します。	リピート	一定の時間ごとにスナップショットを撮影します。
	スナップショットの間隔 (秒)	スナップショットを連続して撮影する間隔を設定します。								
	スナップショット枚数	一度に撮影するスナップショットの枚数を設定します。(1 ~ 3 枚)								
	スナップショットモード	スケジュール	スナップショットを撮影する時刻を設定します。							
リピート		一定の時間ごとにスナップショットを撮影します。								
間隔 (秒)	[スナップショットモード] を [リピート] に設定しているときにスナップショットを撮影する間隔を設定します。(1 ~ 86400)									

- ③ [保存] をクリックします。

映像を再生する

カメラに接続されている microSD カード内の映像を再生します。

- 1 管理画面メインメニューから「再生」をクリックします。
再生画面が表示されます。

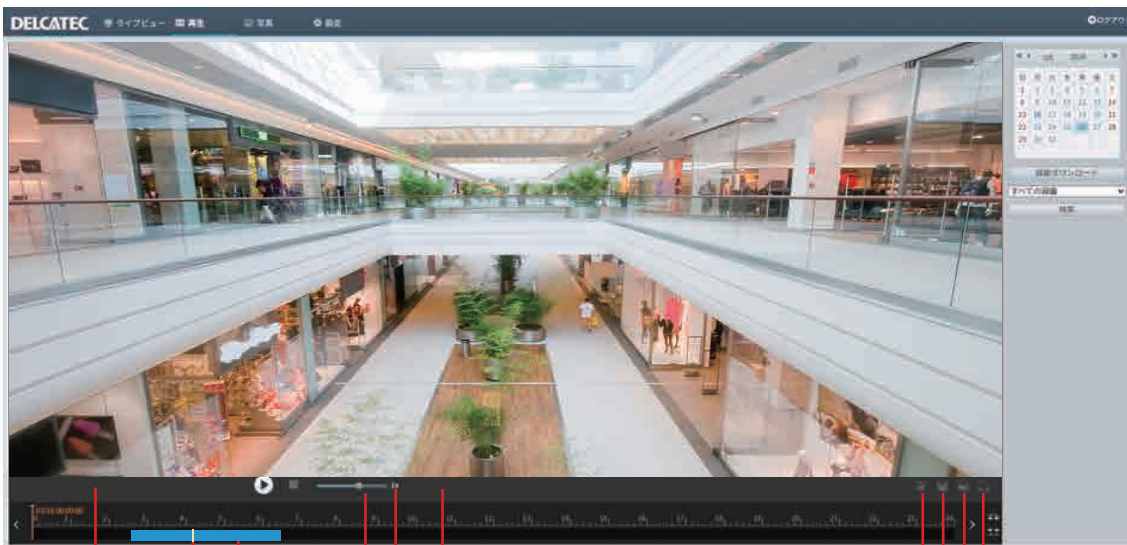


- 2 カレンダーで日付をクリックします。
- 3 「すべての録画」または「アラーム録画」を選択します。
- 4 (アラーム録画の場合) イベントを選択します。
「動体検知」 / 「タンパリングアラーム」 / 「音声検知」 以外は使用できません。



5 「検索」をクリックします。

検索結果が表示されるので、再生する期間をダブルクリックして再生します。



音量調整

現在の再生位置

録画データのある時間は
バーで表示されます。

停止

再生／一時停止

再生スピードの調節
※1×以外の速度は、
映像によって正しく表示
されない場合があります。

拡大表示します。
スナップショットを
保存します。

切り取った録画映像を
保存します。

録画映像を切り取ります。

※ 映像内に表示される時刻と、ネットワークレコーダーの画面下部に表示される時刻は、映像のデコード速度の差によってずれが生じることがあります。



スナップショットは、[設定] メニューから [共通] - [ローカルパラメータ] - [録画・スナップショット] - [フォルダ] で設定されているフォルダ内に、「Snap ¥ (IP アドレス) ¥ (撮影された日付)」のフォルダが作成され、その中に保存されます。

写真を管理する

microSD カードに自動保存されているスナップショット画像の表示と、他ストレージへの書き出しを行います。

管理画面メインメニューから [写真] をクリックします。



番号	項目	内容
①	更新	写真フォルダを更新します。
②	書き出し	選択したスナップショット・フォルダを管理用 PC に書き出します。
③	削除	選択したスナップショット・フォルダを削除します。
④	エクスポート & 削除	選択したスナップショット・フォルダを書き出し、削除します。
⑤	昇順／降順	フォルダを並べ替えます。

Web 設定画面について

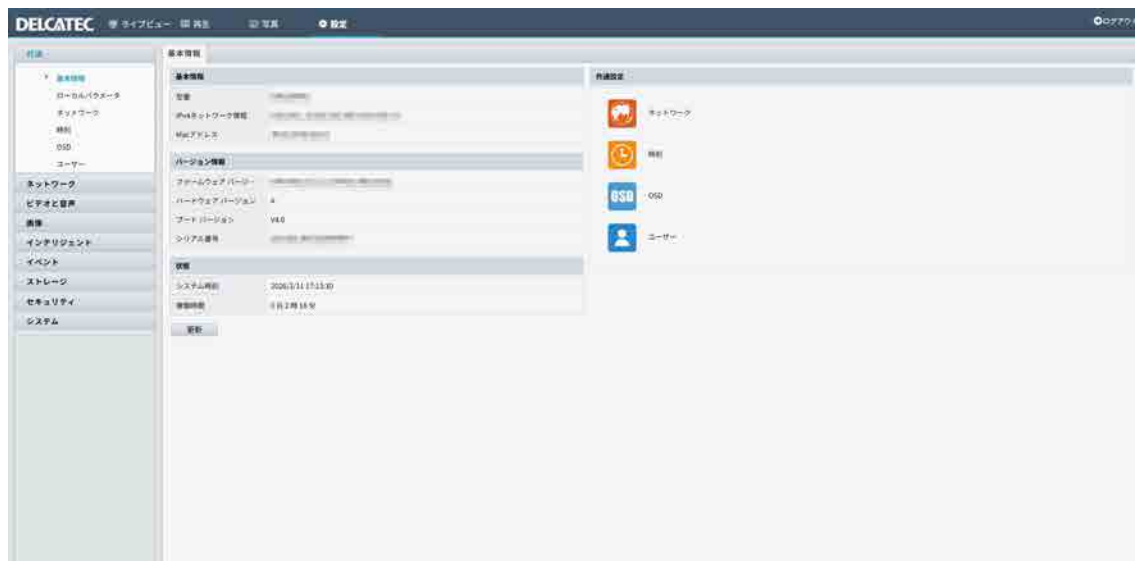
カメラの設定は、カメラの Web 設定画面にアクセスしてください。
カメラによっては一部対応していない機能もあります。

メニュー項目	内容	ページ
共通	製品情報、ユーザー情報、時刻などの設定を行います。	29 ページ
ネットワーク	IP アドレスや E メールなどの設定を行います。	37 ページ
ビデオと音声	映像と音声などの設定を行います。	46 ページ
画像	画質や OSD、プライバシーマスクの設定を行います。	52 ページ
インテリジェント	検知方法を設定することができます。	62 ページ
イベント	アラームを設定します。	63 ページ
ストレージ	microSD カードの設定を行います。	72 ページ
セキュリティ	ユーザーやアクセスの設定を行います。	75 ページ
システム	システムの設定を行います。	81 ページ

- 重要** Web 設定画面で設定を保存した後、1 分以内にカメラの電源をオフ（LAN ケーブルを抜く）にしないでください。
変更した設定値が内部不揮発性メモリへ正しく保存されない場合があります。
Web 設定画面で「保存」のボタンを押すと、「パラメータの設定に成功しました」の表示が出て、設定内容は即時反映されますが、不揮発性メモリへの設定変更内容の書き込みは、その後約 1 分経過後に実行されます。
カメラの電源をオフにする（LAN ケーブルを抜く）場合は、最後の設定変更を行ってから 1 分以上経過した後に実施してください。

基本情報

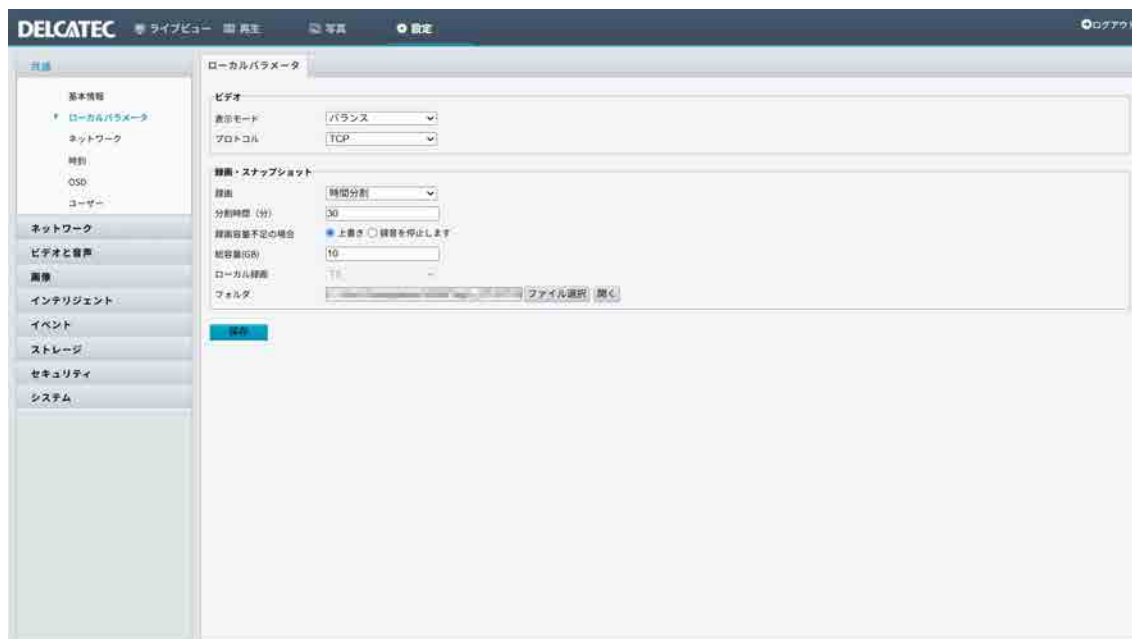
本製品の基本的な情報を設定します。



項目	内容
基本情報	本カメラの基本情報が表示されます。
バージョン情報	ファームウェア、ハードウェア、ブートの各バージョンと、シリアル番号が表示されます。
状態	本カメラの状態を表示します。

ローカルパラメータ

ホーム画面（ライブビュー画面）のスナップショットやパソコンへの録画に関する設定、再生画面のスナップショット・録画に関する設定です。



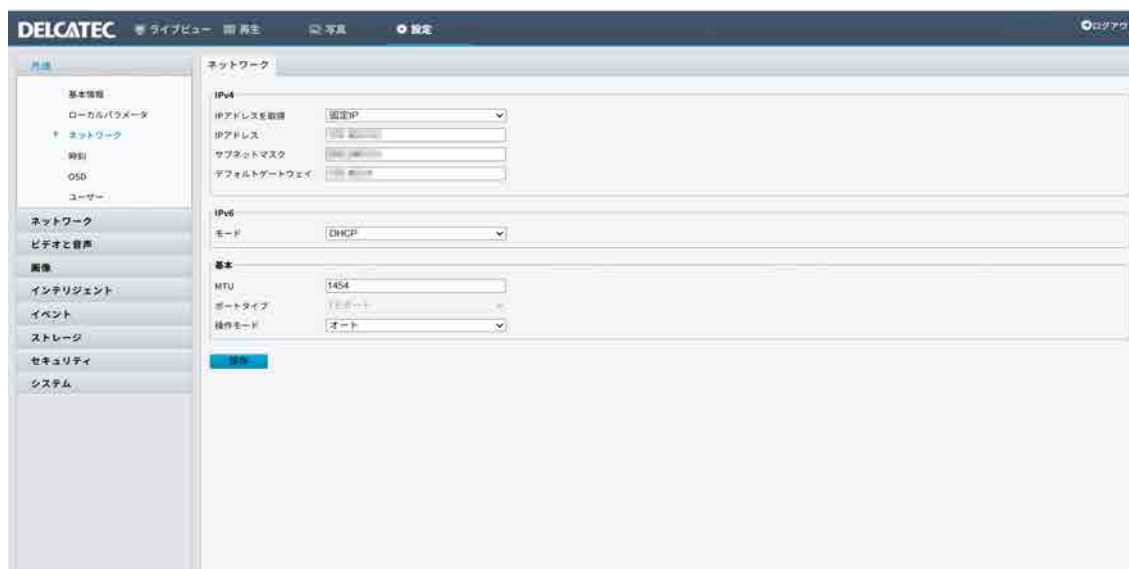
項目	内容									
ビデオ	表示モード	<table border="1"> <tr> <td>遅延最小</td> <td>ライブビデオのタイムラグを最小限にしたい場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>バランス</td> <td>ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>なめらか</td> <td>ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>カスタム</td> <td>映像の遅延となめらかさのバランスを設定します。値が大きいほど映像が滑らかになりますが、遅延時間が長くなります。 (6 ~ 25、初期値：6)</td> </tr> </table>	遅延最小	ライブビデオのタイムラグを最小限にしたい場合に選択します。	バランス	ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。	なめらか	ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。	カスタム	映像の遅延となめらかさのバランスを設定します。値が大きいほど映像が滑らかになりますが、遅延時間が長くなります。 (6 ~ 25、初期値：6)
	遅延最小	ライブビデオのタイムラグを最小限にしたい場合に選択します。								
バランス	ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。									
なめらか	ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。									
カスタム	映像の遅延となめらかさのバランスを設定します。値が大きいほど映像が滑らかになりますが、遅延時間が長くなります。 (6 ~ 25、初期値：6)									
プロトコル	PC でデコードされるメディアストリームの送信用のプロトコルを設定します。									

項目	内容		
録画・スナップ ショット	録画	時間分割	分割指定した時間でファイルを分割します。
		サイズ分割	指定したサイズでファイルを分割します。
	分割時間 (分)	「録画」で「時間分割」を選択すると表示されます。ファイルを分割する時間を設定します。	
	分割サイズ (MB)	「録画」で「サイズ分割」を選択すると表示されます。ファイルを分割するサイズを設定します。	
	録画容量不足の場合	上書き	割り当てられたスペースを使い切ると、もっとも古いデータが上書きされます。
		録音を停止 します	録画を停止します。
	総容量 (GB)	録画・スナップショットの映像・画像の上限容量を設定します。	
	ローカル録画	映像データをファイル保存する形式を指定します。指定できる形式は、TS (トランスポートストリーム) 形式のみです。	
フォルダ	PC 上のローカルフォルダを指定します。		

- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

ネットワーク

カメラが他のデバイスと通信できるように、カメラの IP アドレスなどの通信設定を変更します。



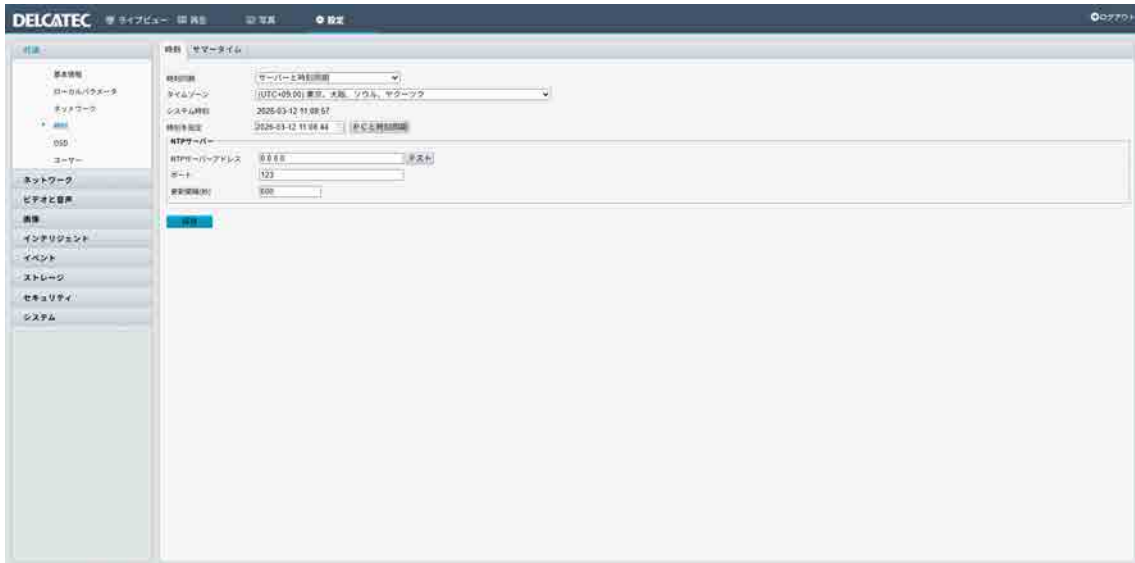
項目	内容	
IP アドレスを取得	固定 IP	IP アドレスを設定します。
	PPPoE	PPPoE クライアント機能で IP アドレスを自動的に取得します。
	DHCP	自動的に IP アドレスを取得します。
IP アドレス	[固定 IP] を選択したときに、設定します。	
サブネットマスク		
デフォルト ゲートウェイ		
IPv6	本製品では設定できません。	
MTU	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位バイト) を設定します (576 ~ 1500)。通常は変更する必要はありません。	
ポートタイプ	ポートタイプが表示されます。変更はできません。	
操作モード	イーサネットの通信速度と通信方式を選択します。	

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

時刻

本製品の時間設定を行います。

■時刻



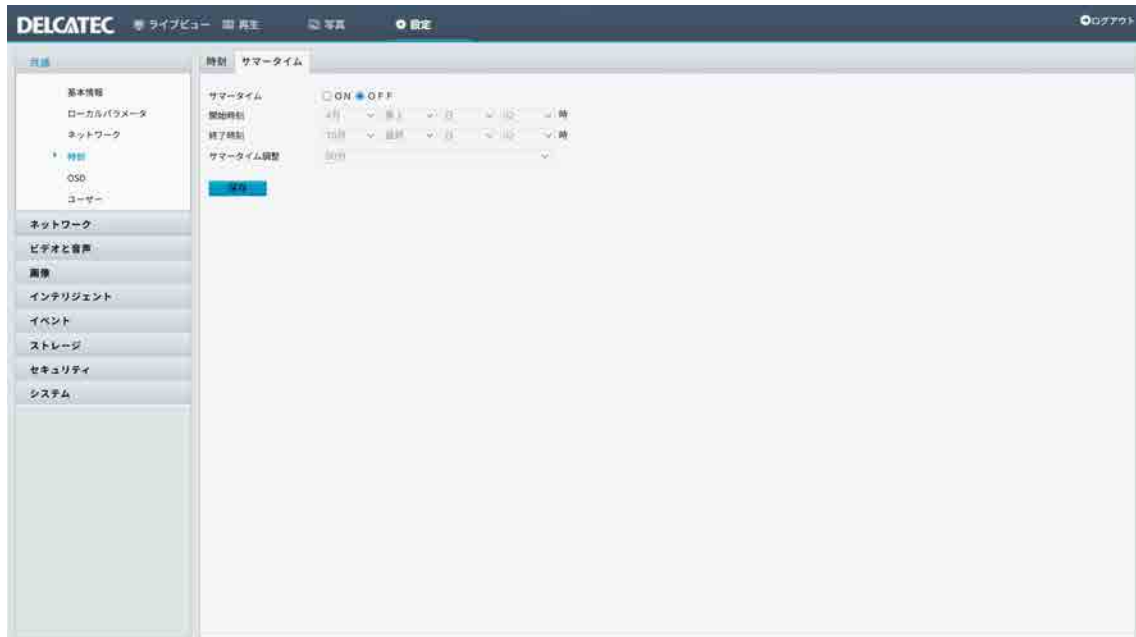
項目	内容	
時刻同期	時刻(時間)の同期方法を設定します。[NTPサーバーと同期]を選択した場合は、NTPサーバーの情報を入力します。NTPサーバーのアドレスは、IPアドレスで指定してください。サーバー名のみでIPアドレスがわからない場合は、nslookup コマンドなどで確認したIPアドレスを指定してください。	
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。	
システム時刻	カメラの時刻を表示します。	
時刻を設定	[PCと時刻同期] をクリックすると、管理用PCの時刻と同期します(もう一度クリックすると同期をキャンセルします)。	
NTPサーバー	設定する前にカメラがインターネット回線に接続されていることを確認してください。	
	NTPサーバーアドレス	NTPサーバー情報を入力します。
	ポート	「テスト」をクリックすると、接続テストができます。
	更新間隔 (秒)	



カメラ単体で利用している場合、電源を切ると日時設定が保持されず、日時がずれた状態になります。また、本機に初めて電源を入れたときは、本機にあらかじめ設定された日時が表示されます。電源を切った後に再度電源を入れて利用するとき、または初めて本機に電源を入れたときは、NTPサーバーと時刻同期するなど日時の設定を実施してください。

- システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更を行っていた場合は、読み込み後に再設定してください。
- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

■サマータイム



項目	内容
サマータイム	サマータイムのオン / オフを設定します。
開始時刻	サマータイムの開始日時を設定します。
終了時刻	サマータイムの終了日時を設定します。
サマータイム調整	時差の調整時間を設定します。

- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

画面上に表示されるテキストを設定します。
 ライブビュー画面を表示すると、設定内容が反映されます。

テキストエリアをドラッグして移動することができます。

テキスト設定ウィンドウ



項目	内容	
テキスト設定 ウィンドウ	有効	チェックを入れると、画面上にテキストエリアが追加されます。
	番号	画面上のエリア番号に対応します。
	オーバーレイ OSD	テキストエリアに追加する項目を選択します。 (「ネットワークポート」の設定は非対応です)
	X 軸 / Y 軸	テキストエリアの場所を座標で設定します。
表示形式	表示される文字の表示形式を設定します。 ・効果…文字の背景を設定したりすることができます。 ・フォントサイズ…文字の大きさを設定できます。 ・フォント色…文字の色を設定できます。 ・最小マージン…マージンを全角、半角、なしに設定できます。 ・日付形式…年月日の表示方法を選択できます。 ・時刻形式…時刻を 24 時間表示または 12 時間表示を選択できます。	

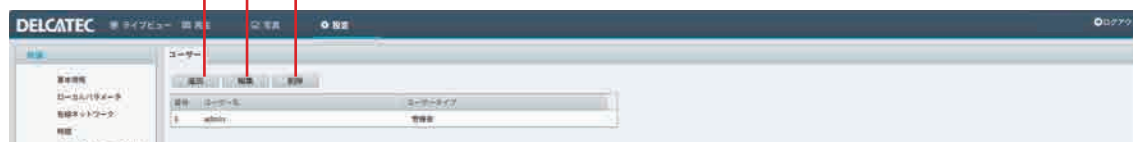


チェックボックスにチェックを入れずに他の画面に移動した場合、設定した内容が保存されないことがあります。

ユーザー

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。

- [追加] 画面が表示され、ユーザーを追加します。
- 選択中のユーザーのパスワードを変更します。
- 選択中のユーザーを削除します。管理者は削除できません。



はじめに

準備

運用・設定

その他

ユーザー追加画面

項目	内容
ユーザー名	32文字以内でユーザー名を設定します。英数字（大文字、小文字）と一部の記号（_、-、+）のみ入力できます。
ユーザータイプ	追加できるユーザーは「一般ユーザー」と「オペレーター」があります。一般ユーザーは、カメラの設定変更は行えず、ライブビュー視聴・再生のみ可能です。オペレーターは、パラメーター、ライブビュー、再生などの権限を選択できます。 ※追加できるユーザーは機種によって異なります。
パスワード	9～32文字でパスワードを設定します。英数字（大文字、小文字）とスペース以外の記号を入力できます。パスワードの強度が下に表示されます。 ※パスワード入力欄の下側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせせたパスワードを設定してください。
確認	確認のためパスワードを再度入力します。

ネットワーク

はじめに

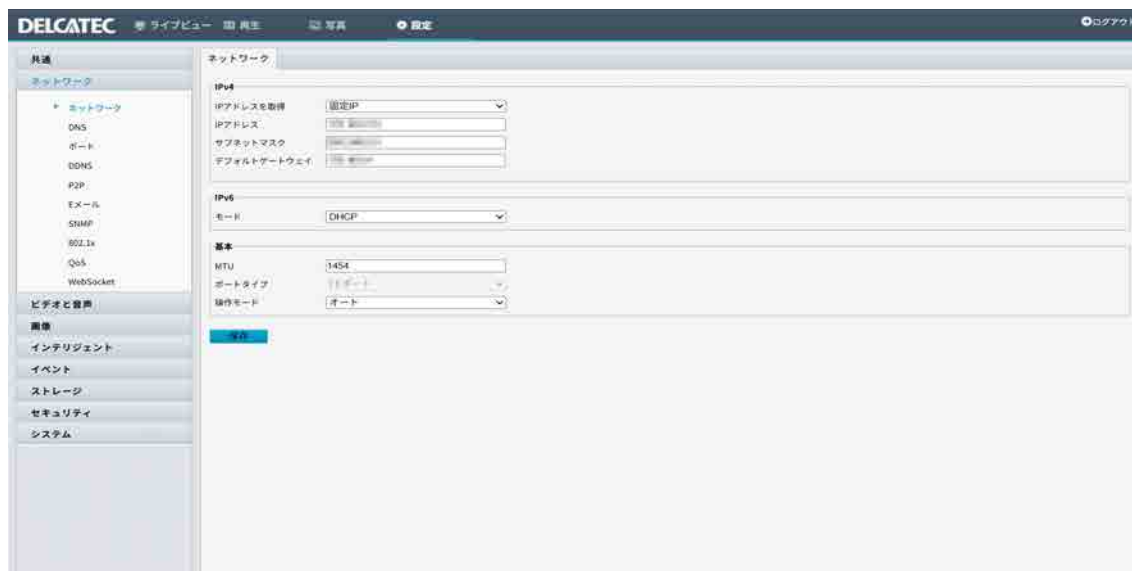
準備

運用・設定

その他

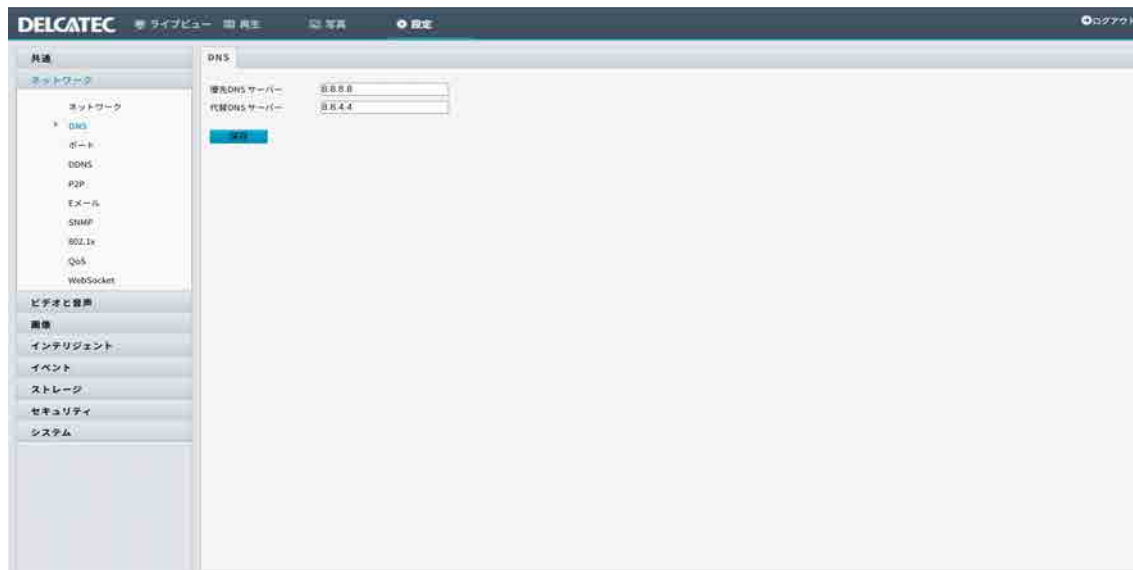
ネットワーク

カメラが他のデバイスと通信できるように、カメラの IP アドレスなどの通信設定を変更します。
設定方法は 32 ページを参照してください。



DNS

DNS サーバーのアドレスを設定します。



- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

ポート

はじめに

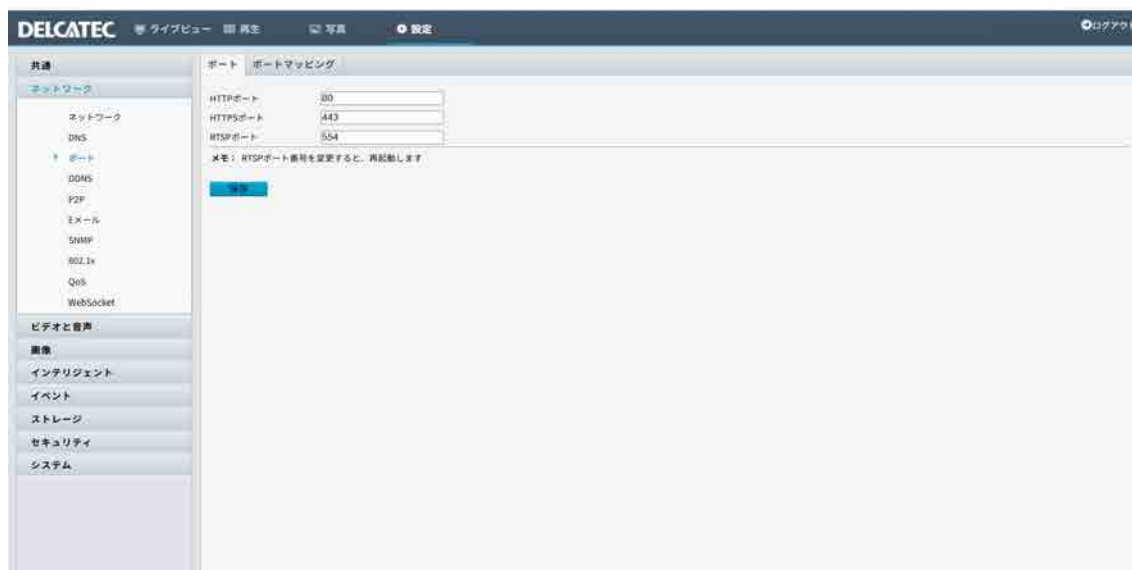
準備

運用・設定

その他

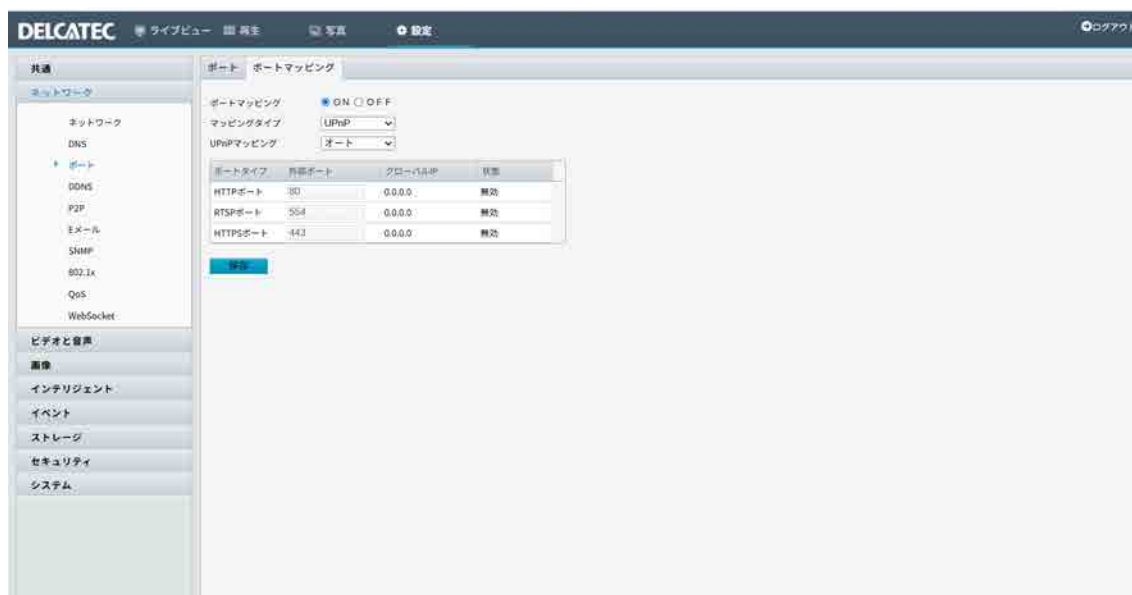
■ポート

ポート番号を設定できます。



■ポートマッピング

ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。



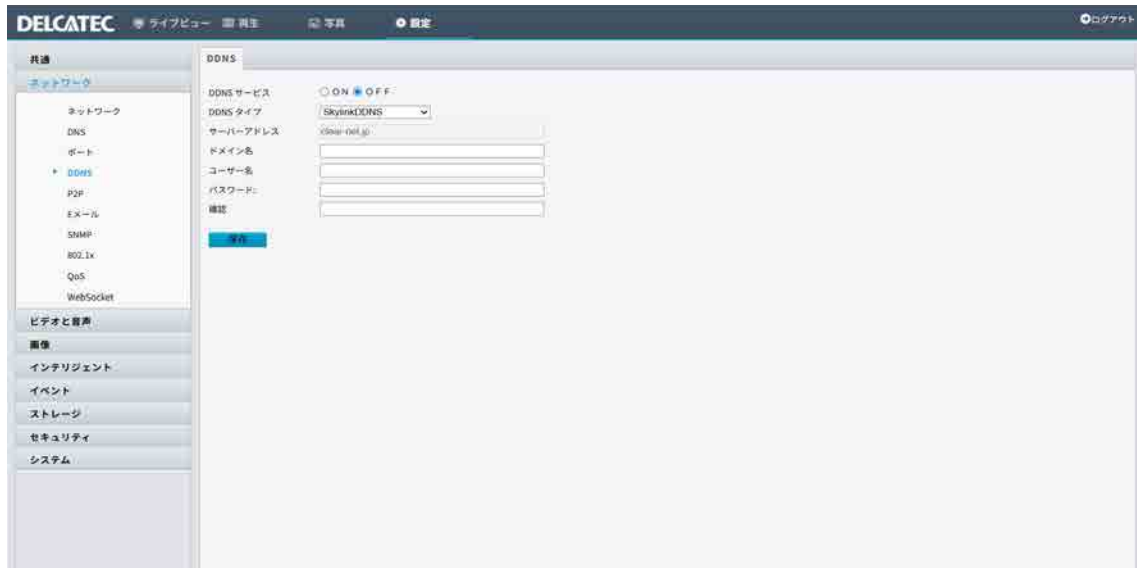
項目	内容
ポートマッピング	ポートマッピング機能を使うときは [ON] にチェックを入れます。
マッピングタイプ	UPnP または手動を選択します。
UPnP マッピング	オートまたは手動を選択します。
ポートタイプ	[マッピングタイプ] を [手動] に設定しているときに、ポート番号を設定します。
状態	設定されたポートが占有されている場合は、[無効] と表示されます。

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

DDNS

DDNS (ダイナミック DNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。

この機能を利用するには、SkylinkDDNS サービスに登録する必要があります。



項目	内容
DDNS サービス	DDNS のオン/オフを選択します。
DDNS タイプ	SkylinkDDNS サービスのみ対応しています。
サーバーアドレス	「clear-net.jp」で固定されています。
ドメイン名	Skylink サービス登録時の内容を設定します。
ユーザー名	DDNS の情報を入力します。
パスワード	
確認	

●設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

 シリアル変換ページはこちら

https://www.dxantenna.co.jp/product/skylink/skylink_ddns_for_dx_.html



P2P

アプリ使用端末と IP カメラ装置がネットワーク上で直接データをやり取りできる機能です。



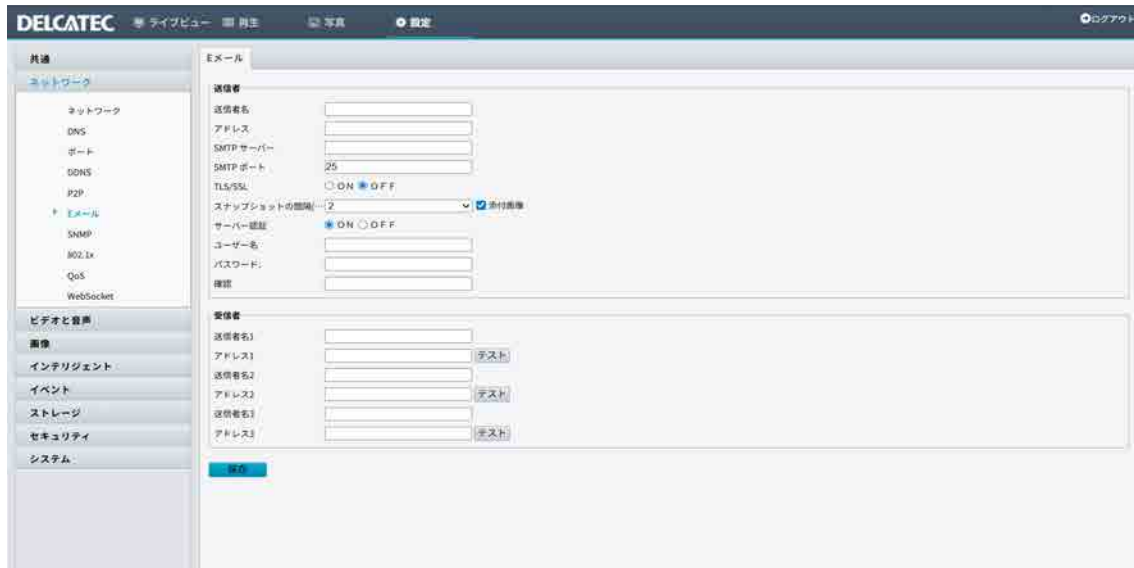
項目	内容
P2P	ON にすることで、サーバー経由でアプリにデバイスを追加することができます。このとき、デバイスがネットワークに接続されている必要があります。
サインアップなしで追加	デバイス追加時にサインアップが必要かどうかを設定します。
アドレス	サーバーのアドレスが表示されます。
登録コード	デバイス追加に必要な登録コードです。 スキャンの QR コードを読み取ると、このコードが表示されます。
デバイス状態	デバイス状態がオンラインの場合、QR コードを使用して、アプリにデバイスを追加することができます。
スキャン	アプリにデバイスを追加するときに読み取ります。 アプリから QR コードを読み取る必要があります。

- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

Eメール

アラーム発生時に送信する E メールを設定をします。

(アラーム発生時に E メールを送付するようにする設定は、[イベント] - [標準アラーム] 設定で行います。)



項目	内容	
送信者	送信者名	メールの送信者となる名前とアドレスを設定します。
	アドレス	
	SMTP サーバー	SMTP サーバー情報を入力します。
	SMTP ポート	
	TLS/SSL	
	スナップショットの間隔 (秒)	スナップショットの間隔を設定します。 「添付画像」にチェックを入れると、メールに画像を添付することができます。
	サーバー認証	サーバー認証が必要な場合は [ON] を選択し、認証用のユーザー名とパスワードを入力します。
	ユーザー名	
	パスワード	
確認		
受信者	送信者名	受信者の情報を入力します。
	アドレス	宛先は最大 3 件まで登録できます。

はじめに

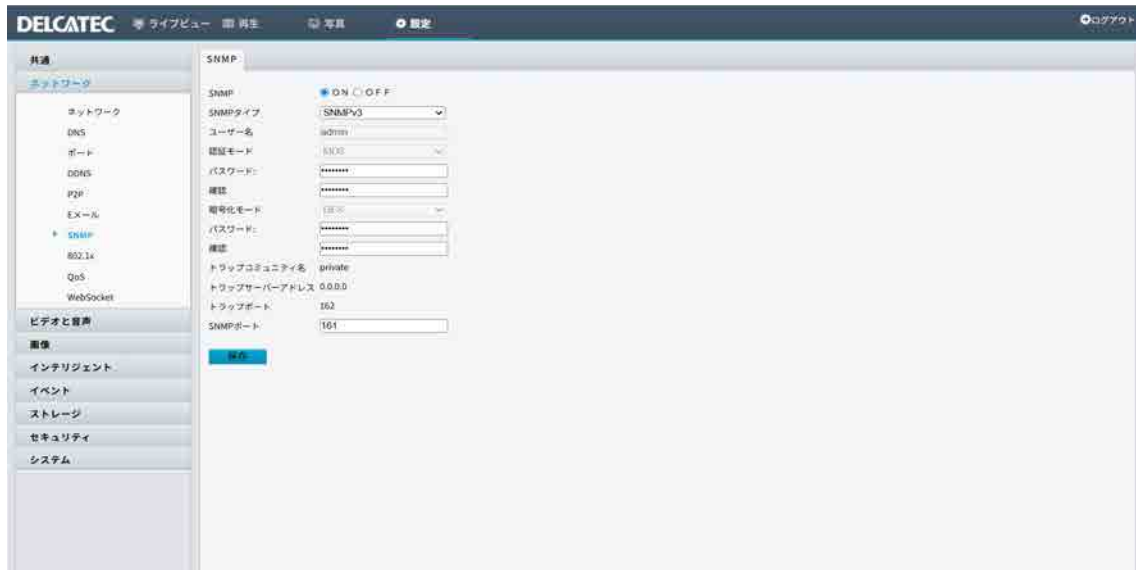
準備

運用・設定

その他

SNMP

SNMP を使用してプラットフォームに接続し、システム時刻を取得します。
本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。



はじめに

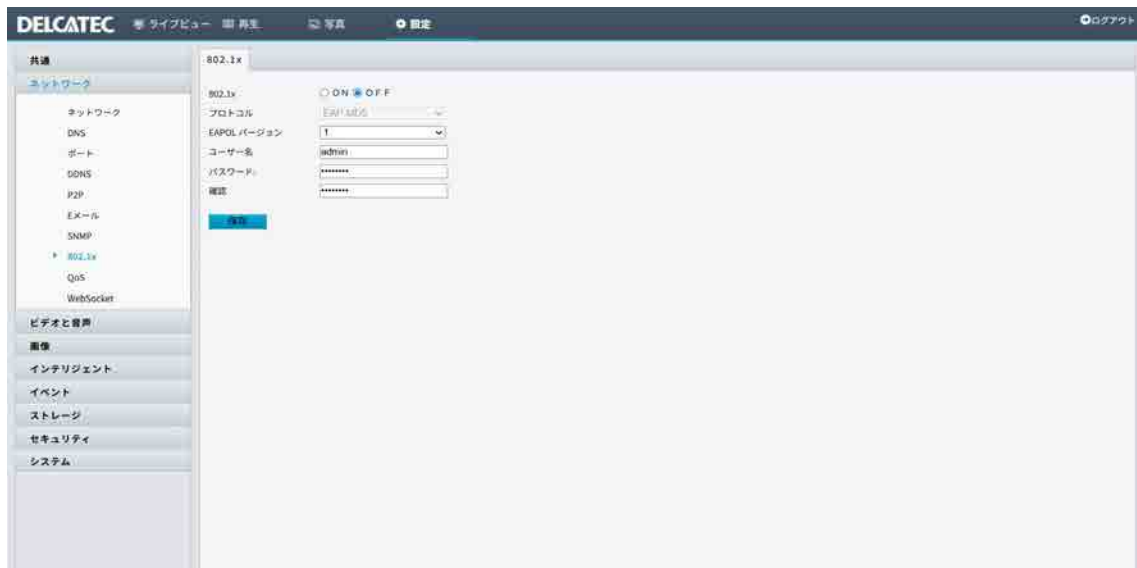
準備

運用・設定

その他

802.1x

IEEE 802.1X の認証規格を利用して、ネットワークに接続するための設定です。
本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。



はじめに

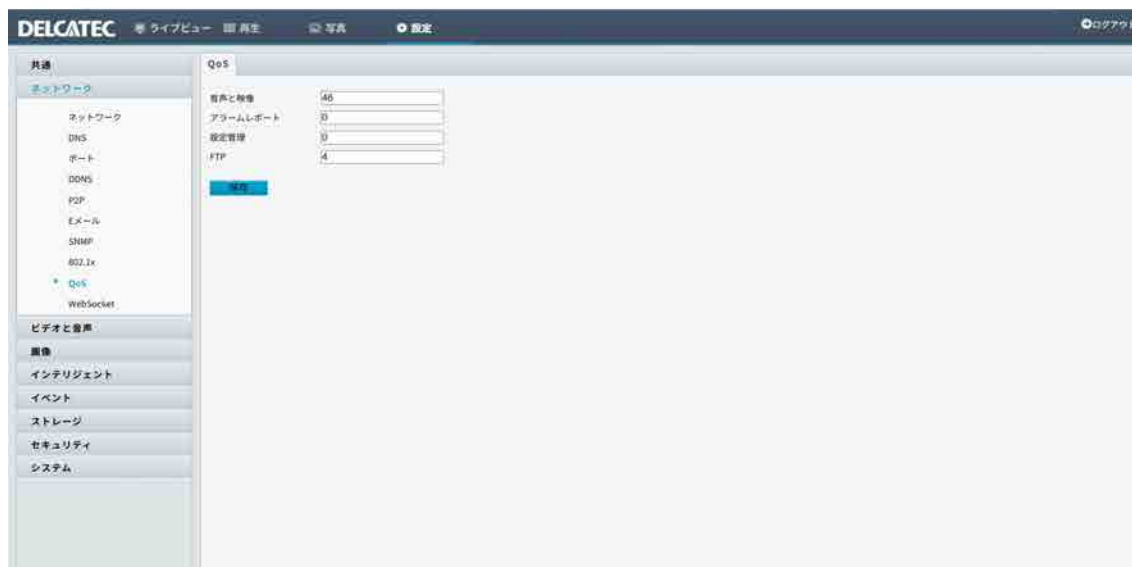
準備

運用・設定

その他

QoS

特定の通信を優先したり制限することで通信の帯域幅を確保し、通信の質を保ちます。
本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。



はじめに

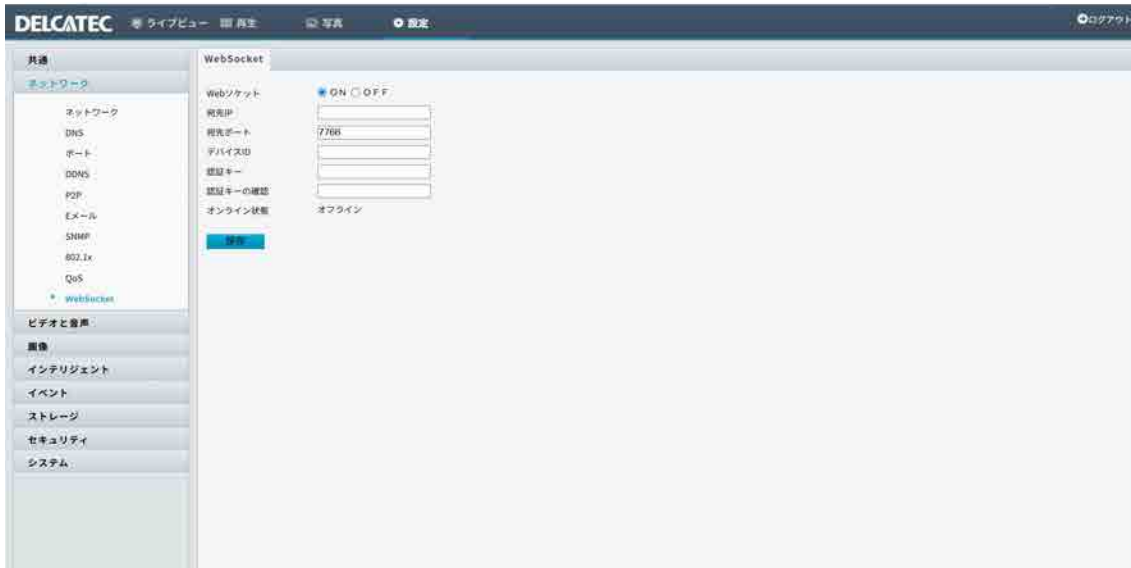
準備

運用・設定

その他

WebSocket

クライアントと Web サーバー間の双方向の通信をするためのプロトコルです。
本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。



はじめに

準備

運用・設定

その他

ビデオと音声

ビデオ

映像の設定を行います。メインストリーム・サブストリームを個別に設定できます。

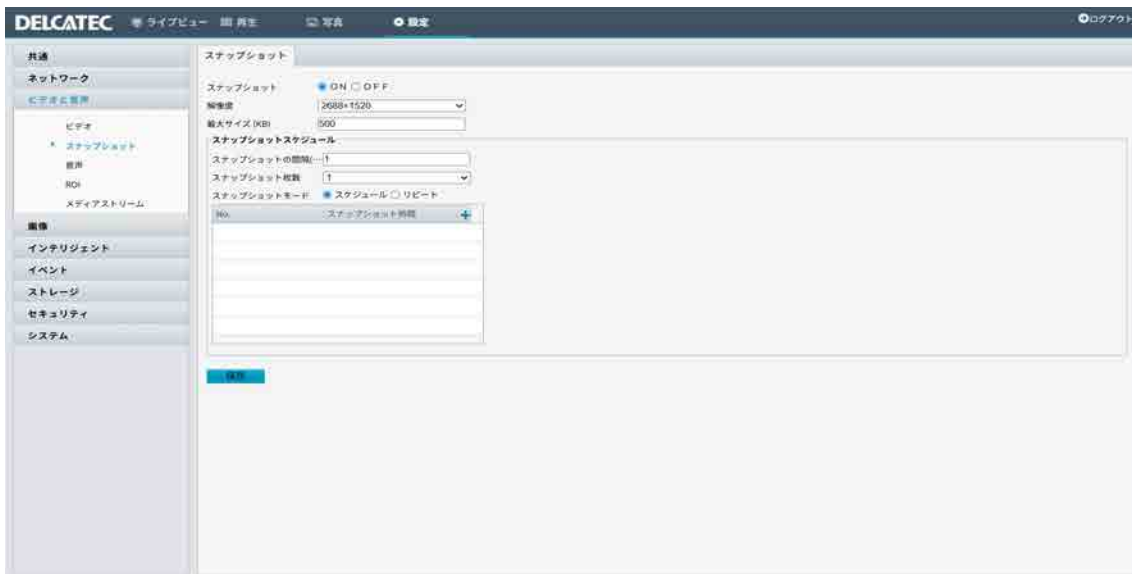


項目	内容				
撮影モード	映像の解像度とフレームレートを設定します。				
ビデオ圧縮	ビデオの圧縮規格を選択します。				
解像度	ビデオの解像度を選択します。				
フレームレート (fps)	1秒あたりのフレーム数を設定します。				
ビットレート (kbps)	1秒あたりの転送ビット数値を選択します。				
ビットレートタイプ	<p>固定ビットレート ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持するために使用されます。帯域幅が限られている場合は、固定ビットレートが優先されます。ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が著しく低下するデメリットがあります。</p> <p>可変ビットレート ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、可変ビットレートを選択することをおすすめします。</p>				
画質	画質を設定します。この設定は [可変ビットレート] を選択している場合のみ有効です。				
Iフレーム間隔	2つの隣接するIフレーム間のフレーム数を設定します。				
GOP	イントラフレーム (Iフレーム) とインターフレームの配置順序を指定します。				
平滑化	映像の変化が激しい場合に、ネットワークに流れる映像のデータ量が極端に上下しないように補正します。 スライダーが右にあるほど、急激な増加量を抑制します。				
スマートエンコード	<table border="1"> <tr> <td>基本モード</td> <td>実際のビットレートは設定ビットレートの約 3/4 です。</td> </tr> <tr> <td>アドバンスドモード</td> <td>実際のビットレートは設定ビットレートの約 1/2 です。</td> </tr> </table> <p>※ スマートエンコード設定は、ビデオ圧縮が H.264 と H.265 の時のみ設定可能です。MJPEG では設定できません。</p> <p>※ スマートエンコードが有効になっていると、30以上のフレームレートはサポートされません。</p>	基本モード	実際のビットレートは設定ビットレートの約 3/4 です。	アドバンスドモード	実際のビットレートは設定ビットレートの約 1/2 です。
基本モード	実際のビットレートは設定ビットレートの約 3/4 です。				
アドバンスドモード	実際のビットレートは設定ビットレートの約 1/2 です。				

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

スナップショット

スナップショット画像の解像度、画質、および撮影の間隔を設定します。
撮影したスナップショットは microSD に保存されます。



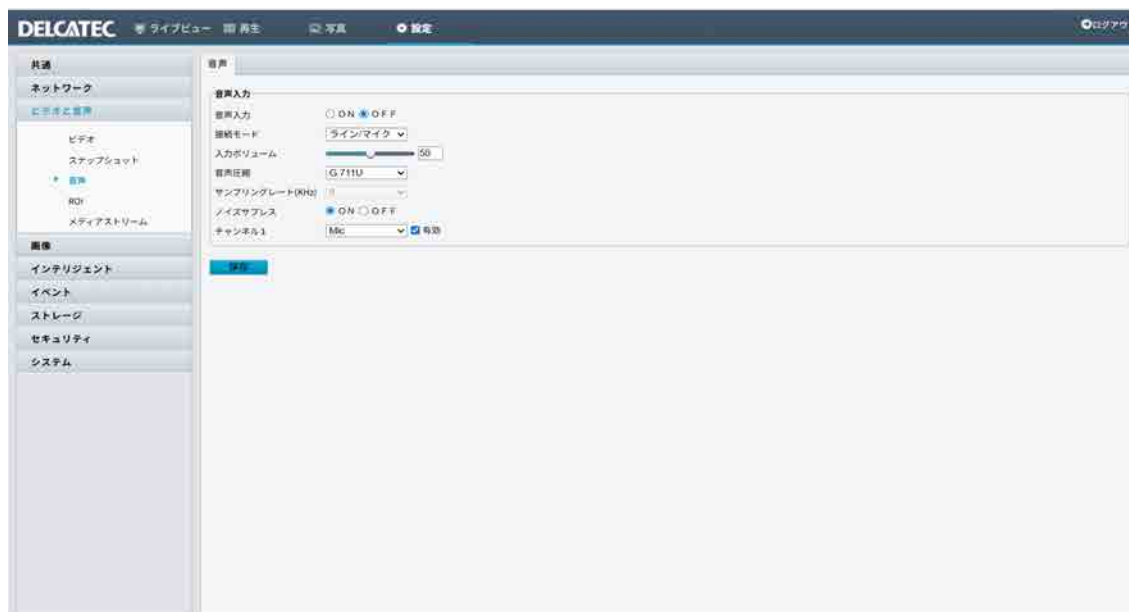
項目	内容											
スナップショット	[ON] を選択すると、設定した間隔でスナップショット画像を撮影します。											
解像度	スナップショット画像の解像度を設定します。											
最大サイズ (KB)	スナップショット画像 1 枚あたりの最大サイズを指定します。											
スナップショット スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>スナップショットの間隔 (秒)</td> <td>スナップショットを連続して撮影する間隔を設定します。</td> </tr> <tr> <td>スナップショット枚数</td> <td>一度に撮影するスナップショットの枚数を設定します。 (1 ~ 3 枚)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">スナップショットモード</td> <td>スケジュール</td> <td>スナップショットを撮影する時刻を設定します。</td> </tr> <tr> <td>リピート</td> <td>一定の時間ごとにスナップショットを撮影します。</td> </tr> <tr> <td>間隔 (秒)</td> <td>[スナップショットモード] を [リピート] に設定しているときにスナップショットを撮影する間隔を設定します。 (1 ~ 86400、初期値：60)</td> </tr> </table>	スナップショットの間隔 (秒)	スナップショットを連続して撮影する間隔を設定します。	スナップショット枚数	一度に撮影するスナップショットの枚数を設定します。 (1 ~ 3 枚)	スナップショットモード	スケジュール	スナップショットを撮影する時刻を設定します。	リピート	一定の時間ごとにスナップショットを撮影します。	間隔 (秒)	[スナップショットモード] を [リピート] に設定しているときにスナップショットを撮影する間隔を設定します。 (1 ~ 86400、初期値：60)
	スナップショットの間隔 (秒)	スナップショットを連続して撮影する間隔を設定します。										
	スナップショット枚数	一度に撮影するスナップショットの枚数を設定します。 (1 ~ 3 枚)										
	スナップショットモード	スケジュール	スナップショットを撮影する時刻を設定します。									
		リピート	一定の時間ごとにスナップショットを撮影します。									
間隔 (秒)	[スナップショットモード] を [リピート] に設定しているときにスナップショットを撮影する間隔を設定します。 (1 ~ 86400、初期値：60)											
スナップショットモード	スケジュール設定時											
スナップショットモード	リピート設定時											
スナップショットモード	②曜日、開始時間/終了時間などを設定する											
スナップショットモード	②時間を選択してOKをクリックする											

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

音声

■音声

カメラの音声エンコードパラメータを設定します。





項目	内容	
音声入力	音声入力	[OFF] を選択すると、オーディオデータはエンコードされません。音声が必要な場合は、[ON] を選択してください。
	接続モード	[ライン/マイク]のみ選択できます。この機能は、2つのオーディオ出力チャンネルを持つデバイスには使用できません。
	入力ボリューム	入力ゲインを設定します。
	音声圧縮	音声の圧縮形式を選択します。
	サンプリングレート (kHz)	変更はできません。
	ノイズサプレッス	ノイズ抑制のオン/オフを選択します。 ※ カメラによって、チャンネル 2 まで表示されます。 その他のシリーズはチャンネル 1 のみ表示されます。
	チャンネル 1	[有効] にチェックを入れると、音声出力が有効になります。本機では対応していません。

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

ROI

関心領域（ROI）が有効になっていると、ビットレートが不十分な場合、ROI の範囲の画質が優先的に保護されます。



項目	内容	
ROI 範囲 設定パネル		ROI 範囲を追加します。 +をクリックした後、マウスで画面上をドラッグして範囲を設定します。
		ROI 範囲を削除します。

はじめに

準備

運用・設定

その他

メディアストリーム

はじめに

■メディアストリーム

カメラから確立されたメディアストリームを表示します。また、カメラがUDPまたはTCPプロトコルで指定されたIPアドレスとポート番号にコードストリームを送信するように設定することもできます。設定はカメラの再起動後に有効になります。

「メディアストリーム」画面が表示され、メディアストリームを追加することができます。



準備

メディアストリーム追加

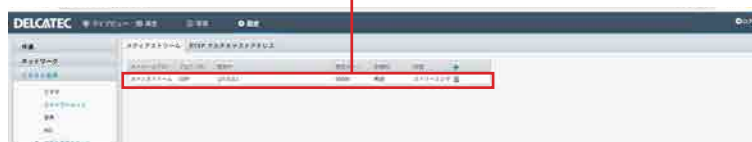


運用・設定

項目	内容
ストリームプロファイル	
プロトコル	追加するストリームを設定します。
宛先 IP	
宛先ポート	
永続的	[有効] にチェックを入れると、再起動後に自動的に以前設定されたメディアストリームをデバイスに確立させます。
状態	ストリーミングが表示されていると、カメラの映像がストリーミングされていることを表示します。

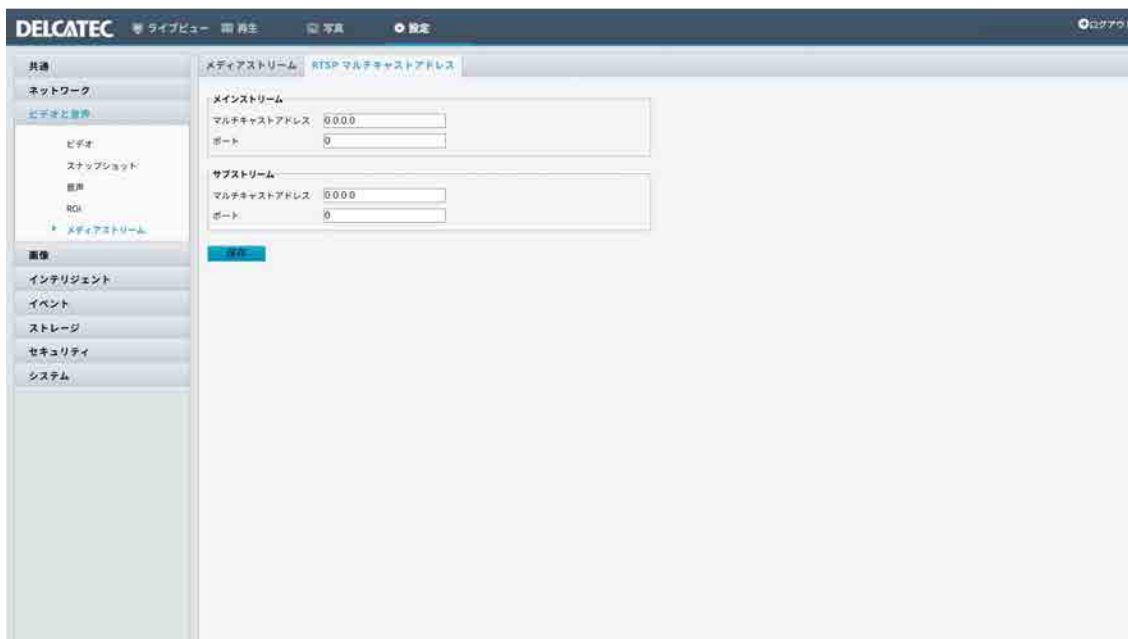
その他

追加されたメディアストリーム



■ RTSP マルチキャストアドレス

RTSP マルチキャストアドレスを設定すると、RTP プロトコルを介して、サードパーティ製デバイスがカメラから RTSP マルチキャストメディアストリームを要求できるようになります。



- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

画像

画像







映像の画像設定を行います。
カメラによっては一部対応していない機能もあります。



項目	内容
シーン	シーン設定ウィンドウを表示します。 ➡ 53 ページ「シーン設定ウィンドウ」
画像補正	画像補正設定ウィンドウを表示します。 ➡ 55 ページ「画像補正設定ウィンドウ」
露出	露出設定ウィンドウを表示します。 ➡ 56 ページ「露出設定ウィンドウ」
スマート照明	スマート照明設定ウィンドウを表示します。 ➡ 58 ページ「スマート照明設定ウィンドウ」
ホワイトバランス	ホワイトバランス設定ウィンドウを表示します。 ➡ 59 ページ「ホワイトバランス設定ウィンドウ」
詳細設定	詳細設定ウィンドウを表示します。 ➡ 60 ページ「詳細設定ウィンドウ」

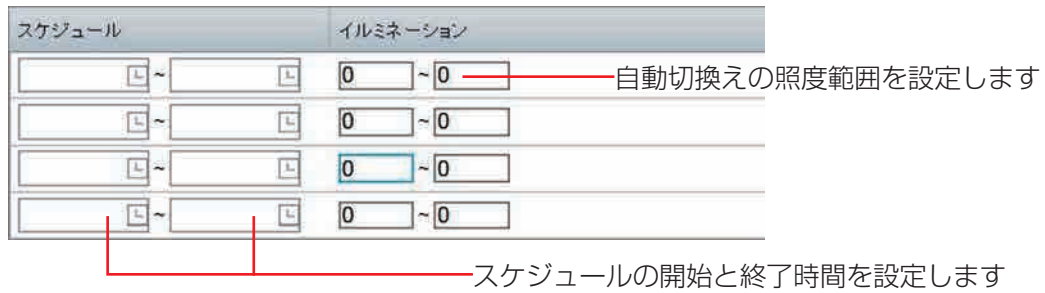
・シーン設定ウィンドウ

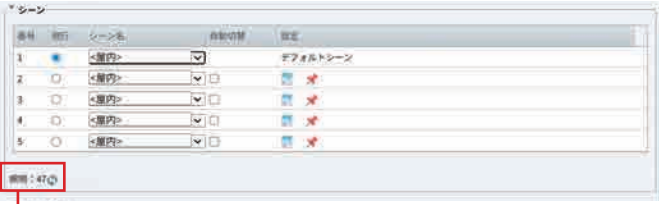


項目	内容												
現行	プレビュー映像に選択されているシーン設定を適用します。												
シーン名	<p>あらかじめ登録されているシーンを選択します。シーン選択中は、画像補正や露出などを設定することができます。</p> <p>※モードの表示は機種によって異なります。</p> <table border="1"> <tr> <td>スターライト</td> <td>夜間、街灯などの明かりが少ない場所での撮影に適しています。</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>一般的な撮影に適しています。</td> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>屋内の撮影に適しています。</td> </tr> <tr> <td>ハイライト補正 (道路用)</td> <td>こちらを向いた車のヘッドライトが映るような環境に適しています。ヘッドライト等の強い光を抑え、ナンバープレートや運転者の顔が捉えやすくなります。</td> </tr> <tr> <td>WDR</td> <td>窓や廊下など、明暗の差が強い場所の撮影に適しています。</td> </tr> <tr> <td>カスタム</td> <td>必要に応じて画像設定とシーン名を設定することができます。</td> </tr> </table>	スターライト	夜間、街灯などの明かりが少ない場所での撮影に適しています。	共通	一般的な撮影に適しています。	屋内	屋内の撮影に適しています。	ハイライト補正 (道路用)	こちらを向いた車のヘッドライトが映るような環境に適しています。ヘッドライト等の強い光を抑え、ナンバープレートや運転者の顔が捉えやすくなります。	WDR	窓や廊下など、明暗の差が強い場所の撮影に適しています。	カスタム	必要に応じて画像設定とシーン名を設定することができます。
スターライト	夜間、街灯などの明かりが少ない場所での撮影に適しています。												
共通	一般的な撮影に適しています。												
屋内	屋内の撮影に適しています。												
ハイライト補正 (道路用)	こちらを向いた車のヘッドライトが映るような環境に適しています。ヘッドライト等の強い光を抑え、ナンバープレートや運転者の顔が捉えやすくなります。												
WDR	窓や廊下など、明暗の差が強い場所の撮影に適しています。												
カスタム	必要に応じて画像設定とシーン名を設定することができます。												
自動切替	チェックを入れると、選択しているシーンの切り替え条件（時間と照明）が両方満たされたときに、自動的にシーンに切り替えます。												
設定	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>シーンを切り替える時間と照明の条件を設定します。 ➡ 54 ページ「スケジュール設定ウィンドウ」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>デフォルトのシーンに設定します。</td> </tr> </table>		シーンを切り替える時間と照明の条件を設定します。 ➡ 54 ページ「スケジュール設定ウィンドウ」		デフォルトのシーンに設定します。								
	シーンを切り替える時間と照明の条件を設定します。 ➡ 54 ページ「スケジュール設定ウィンドウ」												
	デフォルトのシーンに設定します。												
自動切替有効	<p>設定した条件になったときに、自動的にシーンを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定した条件に該当しない場合は、「デフォルトシーン」が適用されます。 ● 複数の条件に該当する場合は、その中で番号が一番小さいシーンに切り替わります。 												

スケジュール設定ウィンドウ

 をクリックすると、スケジュールの設定ができます。指定した照度数値の範囲内の時に切り替わります。



項目	内容
スケジュール	シーンを切り替える時間帯を設定します。
イルミネーション	<p>シーンを切り替える照明の範囲を設定します。(0 ~ 999999) 数値が高いほど明るい照明を示しています。 0 ~ 0 の場合は、条件は無効になります。</p>  <p>照明の数値は、シーン設定ウィンドウの現在の照明値を参照に設定してください。</p>

・画像補正設定ウィンドウ



項目	内容
輝度	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、映像が明るくなります。
彩度	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、彩度が高くなります。
コントラスト	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、コントラストが強くなります。
シャープネス	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、シャープネスが強くなります。
2D ノイズ削減	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、映像中のノイズを減らします。この機能により画像がぼやけることがあります。
3D ノイズ削減	値を大きくするほど（スライダが右にあるほど）、映像中のノイズを減らします。この機能はモーションブラー（または一部のアプリケーションではゴースト）を引き起こす可能性があります。
画像回転	映像を回転表示します。

工場出荷設定をクリックすると、設定が工場出荷状態に戻ります。

・露出設定ウィンドウ

カメラによっては一部対応していない機能もあります。



項目	内容	
露出モード	露出モードを選択します。	
	自動	環境に応じて自動的に調整します。
	カスタム	手で露出を設定します。
	屋内 50Hz 屋内 60Hz	シャッター周波数を制限して縞模様の出現を減らします。
	手動	シャッター（秒）、感度などを手動で設定します。
	低モーションブラー	モーションブラーを減らすために最小シャッターを制御します。
シャッター（秒）	シャッタースピードを設定します（露出モードを手動、カスタム、低モーションブラー設定時）。動きの速い被写体には速いシャッタースピード、動きの遅い被写体には遅いシャッタースピードが適しています。 [スローシャッター] を [OFF] に設定しているときは、シャッタースピードの分母の数がフレームレートの数より大きくなるように設定する必要があります。 （露出モードを手動、カスタム、低モーションブラー設定時）	
感度	（露出モードを手動、カスタム設定時） カメラがさまざまな照明条件で標準のビデオ信号を出力できるように、画像信号を制御します。	
スローシャッター	暗い場所を撮影するときに映像を明るくすることができます。	

項目	内容						
スローシャッター (最遅設定)	シャッタースピードの下限を設定します。						
補正	露出を補正します。						
縞模様の抑制	画像の縞模様を抑制します。						
測光制御	カメラが光の強度を測定する方法を設定します。						
	<table border="1"> <tr> <td>中央重点平均測光</td> <td>おもに画像の中央部分で光を測定します。</td> </tr> <tr> <td>評価測定 (BLC)</td> <td>露出オーバー部分の明るさを無視して測定します。逆光時に有効ですが、画像全体の明るさは低下します。</td> </tr> <tr> <td>スポット測光</td> <td>画像の一点で測定します。</td> </tr> </table>	中央重点平均測光	おもに画像の中央部分で光を測定します。	評価測定 (BLC)	露出オーバー部分の明るさを無視して測定します。逆光時に有効ですが、画像全体の明るさは低下します。	スポット測光	画像の一点で測定します。
	中央重点平均測光	おもに画像の中央部分で光を測定します。					
	評価測定 (BLC)	露出オーバー部分の明るさを無視して測定します。逆光時に有効ですが、画像全体の明るさは低下します。					
スポット測光	画像の一点で測定します。						
※このパラメーターは、露出モードが手動に設定されていない場合にのみ設定できます。							
<table border="1"> <tr> <td>自動</td> <td>明るさに応じて自動的にナイトモードとデイモードを切り替えます。</td> </tr> <tr> <td>デイ</td> <td>ライトを常時消灯します。</td> </tr> <tr> <td>ナイト</td> <td>ライトを点灯し、カラーで撮影できないような暗い環境でもカラーで撮影することができます。</td> </tr> </table>	自動	明るさに応じて自動的にナイトモードとデイモードを切り替えます。	デイ	ライトを常時消灯します。	ナイト	ライトを点灯し、カラーで撮影できないような暗い環境でもカラーで撮影することができます。	
自動	明るさに応じて自動的にナイトモードとデイモードを切り替えます。						
デイ	ライトを常時消灯します。						
ナイト	ライトを点灯し、カラーで撮影できないような暗い環境でもカラーで撮影することができます。						
デイ/ナイトモード							
デイ/ナイト感度	デイモードとナイトモードを切り替えるときの感度を選択します。 「高」に設定すると、デイモードとナイトモードが切り替わりやすくなります。 この設定は、「デイ/ナイトモード」が「自動」に設定されているときのみ有効です。						
デイ/ナイト切替 (秒)	デイモードとナイトモードを切り替えるまでの時間を設定します。 この設定は、「デイ/ナイトモード」が「自動」に設定されているときのみ有効です。						
WDR	WDR (ワイドダイナミックレンジ) 機能を有効にして、被写体のコントラストが高い場合でも映像を鮮明にします。 露出モードが「手動」のときは無効になります。 また「詳細設定」で「デフォグ」を「ON」または「自動」に設定すると、このパラメーターは「OFF」のまま変更できなくなります。						
WDR レベル	WDR のレベルを設定します。 以下の場合はこのパラメーターを変更できません。 ・「WDR」が「OFF」のとき ・「露出モード」が「手動」のとき						
WDR ストライプ 抑制	有効にすると、カメラは光の周波数に応じて遅いシャッター周波数を自動的に調整して、画像に表示される縞模様を最小限に抑えることができます。						
WDR オン感度	WDR を OFF から ON にする感度を設定します。数値を大きくするほど WDR が ON になるタイミングが早くなります。 以下の場合はこのパラメーターは無効になります。 ・「WDR」が「OFF」または「ON」のとき ・「露出モード」が「手動」のとき						
WDR オフ感度	WDR を ON から OFF にする感度を設定します。数値を大きくするほど WDR が OFF になるタイミングが早くなります。 以下の場合はこのパラメーターは無効になります。 ・「WDR」が「OFF」または「ON」のとき ・「露出モード」が「手動」のとき						

・スマート照明設定ウィンドウ

はじめに

準備

運用・設定

その他



項目	内容	
スマート照明	スマート照明のオン/オフを選択します。	
イルミネーションモード	白色光	カラーで撮影できないような暗い環境のときにライトを点灯します。
	スマートホワイトライト	イベントを検知したときにライトを点灯します。
コントロールモード	グローバル	照明と露出をバランスよく調整します。 このオプションを選択すると、一部の領域が露出オーバーになることがあります。監視範囲と画像の明るさが最優先の場合は、このオプションをおすすめします。
	露出オーバー制御	局所的な露出オーバーを避けるように、照明と露出を調整します。 このオプションを選択すると、一部の領域が暗くなる場合があります。画像の中央部分の鮮明さと露出オーバーの抑制を最優先する場合におすすめします。
	カスタムレベル	ライトの明るさを手動で制御します。
照明レベル	ライトの明るさを 1～1000 の範囲で設定します。 値が大きいほど、強度が高くなります。0 に設定すると消灯します。 この設定はコントロールモードが [カスタムレベル] に設定されている場合に設定できます。	

・ホワイトバランス設定ウィンドウ

カメラ映像のホワイトバランスを設定します。



項目	内容												
ホワイトバランス	<table border="1"> <tr> <td>オート</td> <td>光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します（色は青になる傾向があります）。 [オート] または [自動 2] でどちらか自然に見える方を選択してください。</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>屋外環境に適しています。</td> </tr> <tr> <td>微調整</td> <td>赤と青のオフセットを手動で調整します。</td> </tr> <tr> <td>ナトリウムランプ</td> <td>光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します（色は赤になる傾向があります）。</td> </tr> <tr> <td>保護</td> <td>変更せずに現在の色温度を固定します。</td> </tr> <tr> <td>自動 2</td> <td>上記「オート」参照</td> </tr> </table>	オート	光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します（色は青になる傾向があります）。 [オート] または [自動 2] でどちらか自然に見える方を選択してください。	屋外	屋外環境に適しています。	微調整	赤と青のオフセットを手動で調整します。	ナトリウムランプ	光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します（色は赤になる傾向があります）。	保護	変更せずに現在の色温度を固定します。	自動 2	上記「オート」参照
	オート	光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します（色は青になる傾向があります）。 [オート] または [自動 2] でどちらか自然に見える方を選択してください。											
	屋外	屋外環境に適しています。											
	微調整	赤と青のオフセットを手動で調整します。											
	ナトリウムランプ	光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します（色は赤になる傾向があります）。											
	保護	変更せずに現在の色温度を固定します。											
自動 2	上記「オート」参照												
赤オフセット	赤のオフセットを手動で調整します。 この設定は、ホワイトバランスが [微調整] に設定されている場合にのみ設定できます。												
青オフセット	青のオフセットを手動で調整します。 この設定は、ホワイトバランスが [微調整] に設定されている場合にのみ設定できます。												

・詳細設定

カメラ映像の詳細設定をします。



項目	内容
デフォグ	[デフォグ 強度] を設定するときは [ON] または [自動] に設定します。 このパラメータを設定できるのは、露出設定ウィンドウで「WDR」の設定が [OFF] になっているときだけです。 また [デフォグ] を [ON] または [自動] に設定すると、露出設定ウィンドウの [WDR] は [OFF] のままで変更できなくなります。
デフォグ 強度	霧補正レベル（霧やもやの中で明瞭に撮影するレベル）を設定します。



- 一部のカメラモデルのみが光学デフォグをサポートしています。デフォグが [ON] に設定されている場合、デフォグ強度レベル 6～9 はオプティカルデフォグになります。デフォグ強度がレベル 5 から 6 に設定されている場合、画像はカラーから白黒に変わります。
- 「デフォグ」を「自動」に設定し、デフォグの強度レベルが 6～9 の間にある場合、画像は明るいフォグ状態で自動的に白黒に変わりません。カメラは濃霧状態でのみ自動的に光学デフォグに切り替わります。

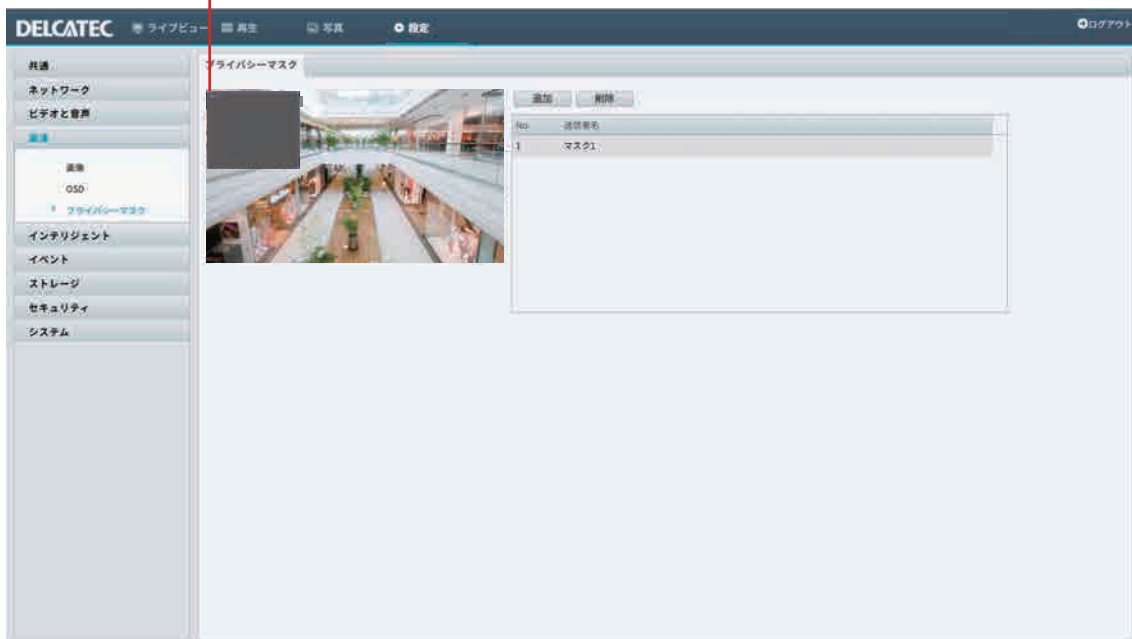
OSD

画面上に表示されるテキストを設定します。
ライブビュー画面を表示すると、設定内容が反映されます。
設定方法は 35 ページを参照してください。

プライバシーマスク

プライバシーマスクを最大で 4 つまで作成することができます。
ライブビュー画面を表示すると、プライバシーマスクを設定した部分は黒塗りになり、映像に映らなくなります。

作成されたプライバシーマスク
ドラッグで移動することができます。

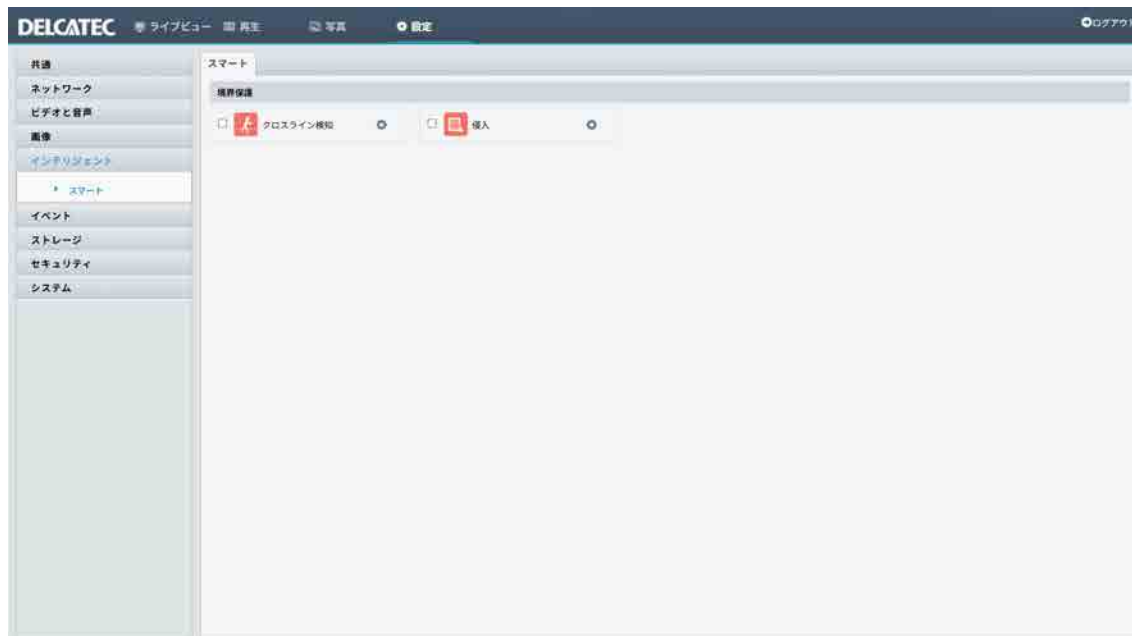


項目	内容
追加	クリックした後、画面上をドラッグしてプライバシーマスクを追加できます。(プライバシーマスクは最大で 4 つまで作成することができます。)
削除	選択したプライバシーマスクを削除します。

インテリジェント

スマート

映像から自動分析し、アラームなどの伝達までを行います。
この機能は、本製品ではサポートしていません。



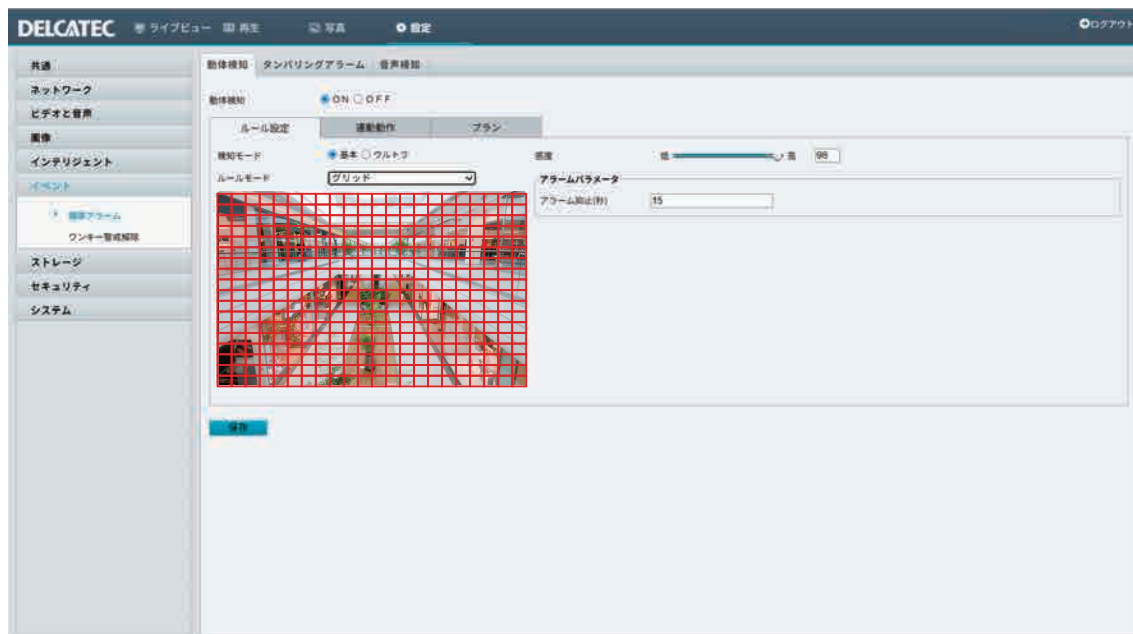
イベント

映像内に動きや妨害行為を検知したときにアラームを出力したり、連動する動作を設定することができます。

標準アラーム

■動体検知

指定された矩形領域内のオブジェクトの動きを検出します。



ルール設定

項目	内容			
検知モード	「基本」を選択してください。 「ウルトラ」はサポートしていません。			
ルールモード	ルールモードを設定します。 「範囲」「グリッド」のいずれかを選択することで、他の項目の設定内容も変わってきます。			
	<table border="1"><tr><td>範囲 (初期設定)</td><td>検知範囲をエリアで設定します。 ➔ 64 ページ「検知範囲設定ウィンドウ」</td></tr><tr><td>グリッド</td><td>検知範囲をグリッドで設定します。 ➔ 65 ページ「検知グリッド設定ウィンドウ」</td></tr></table>	範囲 (初期設定)	検知範囲をエリアで設定します。 ➔ 64 ページ「検知範囲設定ウィンドウ」	グリッド
範囲 (初期設定)	検知範囲をエリアで設定します。 ➔ 64 ページ「検知範囲設定ウィンドウ」			
グリッド	検知範囲をグリッドで設定します。 ➔ 65 ページ「検知グリッド設定ウィンドウ」			

検知範囲設定ウィンドウ

「ルールモード」を「範囲」に設定すると、以下の検知範囲設定ウィンドウが表示され、検知範囲を複数設定することができます。

クリックした後、映像上をドラッグして検知範囲を追加します。

選択した検知範囲を削除します。



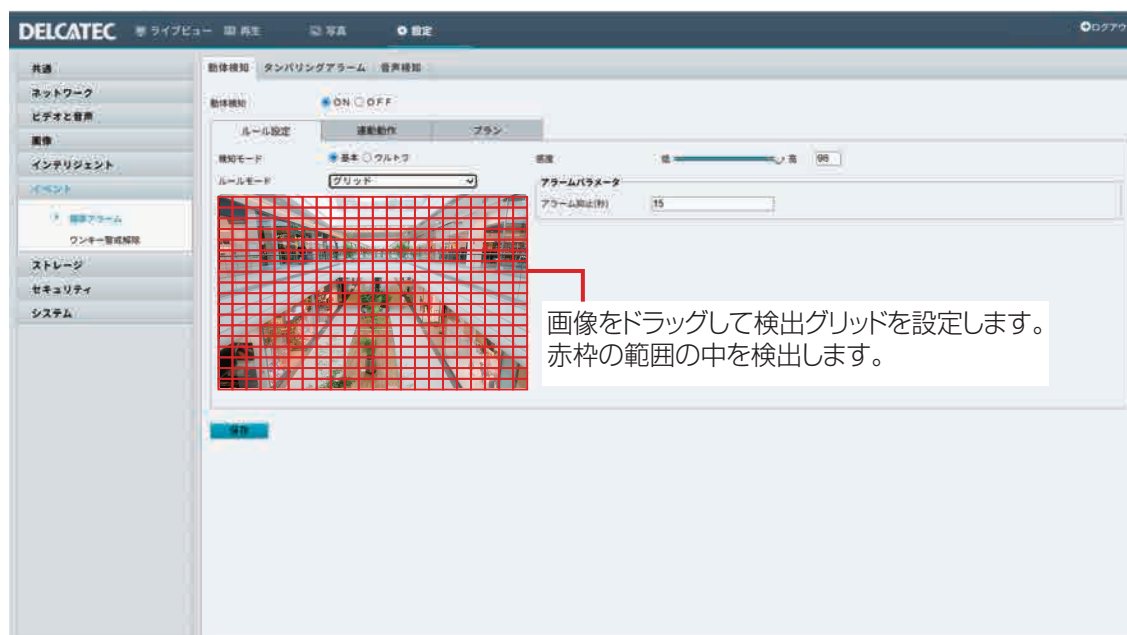
ドラッグして検知範囲を移動することができます。

検出結果

項目	内容		
感度	感度の数値が高いほど（スライダが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやすくなります。検知範囲全体のサイズに対するオブジェクトのサイズの最小比率を指定します。		
対象のサイズ	検知範囲全体のサイズに対するオブジェクトのサイズの最小比率を指定します。小さな動きを検出する場合は、検知範囲を小さめにして、[対象のサイズ]をなるべく「小」に近づける必要があります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発生した動きがリアルタイムでグラフに表示されます。動体検知アラームが発生すると、赤い線で表示されます。線が長いほど動きの程度が大きいことを表します。また、線の密度が濃いほど動きの頻度が高いことを表します。</p> <p>(例)</p> <p>対象のサイズ設定 この値を超えて動きを感知すると、アラームが発生します。 ※このしきい値は目安です。しきい値を超えても検知されない場合もあります。</p> </div>		
アラームパラメータ	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">アラーム抑止 (秒)</td> <td>一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。</td> </tr> </table>	アラーム抑止 (秒)	一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。
アラーム抑止 (秒)	一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。		

検知グリッド設定ウィンドウ

「ルールモード」を「グリッド」に設定すると、以下のグリッド設定ウィンドウが表示され、検知範囲をグリッドによって設定することができます。



項目	内容		
感度	<p>動体検知の感度を設定します。</p> <p>感度の数値が高いほど（スライダが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやすくなります。</p>		
アラームパラメータ	<table border="1"> <tr> <td>アラーム抑止（秒）</td> <td>一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。</td> </tr> </table>	アラーム抑止（秒）	一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。
アラーム抑止（秒）	一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。		

- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

連動動作

連動動作については、各機能の検知を共通で記載しております。

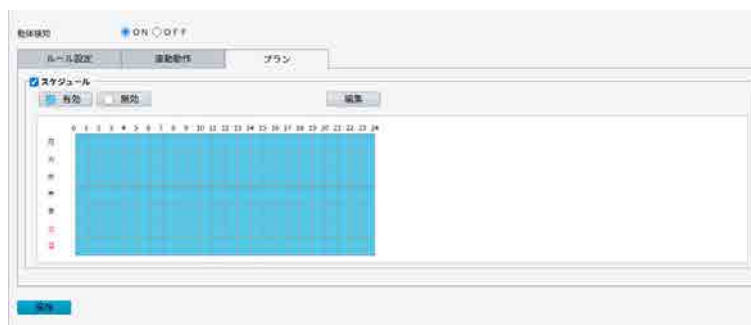


項目	内容	
従来型	FTPアップロード	サポートしていません。
	メール送信	チェックを入れると、検知時にEメールを送信します。
ストレージ	録画エッジストレージ	microSDカードへ録画します。
	イメージエッジストレージ	microSDカードへスナップショットを保存します。
	FTPビデオストレージ	サポートしていません。

- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

プラン

プランについては、各機能の検知を共通で記載しております。



スケジュール編集ウィンドウ

検知を有効にするスケジュールを設定します。設定方法は「**時間軸でスケジュールを編集するとき**」と「**日時を文字入力してスケジュールを編集するとき**」の2種類あります。

● 時間軸でスケジュールを編集するとき

- ① [有効] または [無効] ボタンを押してから、時間軸の枠内をドラッグしてスケジュールを設定します。

検知が有効な時間帯が青色、無効な時間帯が白色で表示されます。

②設定が終わったら、画面左下の「保存」を押します。

チェックを入れるとスケジュール設定が有効になります。

編集画面を開きます。「●日時を文字入力してスケジュールを編集するとき」参照

時間軸

[有効]または[無効]ボタンを押し、ドラッグしてスケジュールを設定します。
青色…検知が有効な時間帯 白色…検知が無効な時間帯

●日時を文字入力してスケジュールを編集するとき

- ①「編集」を押してスケジュール編集画面を開き、曜日を選んで開始時刻、終了時刻を入力します。
同じ設定内容を他の曜日にも反映したい場合は、コピー先の曜日にチェックを入れ、「コピー」を押します。
- ②編集が終わったら「確認」を押して前の画面に戻り、画面左下の「保存」を押します。

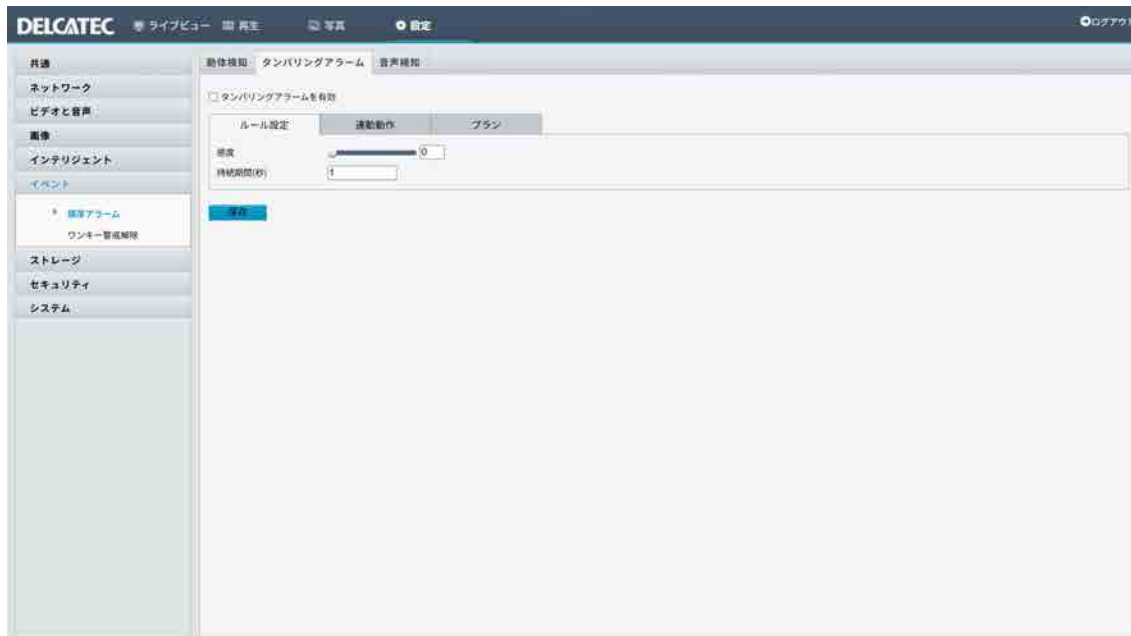
曜日ごとに有効にする時間帯を設定します。

他の曜日に設定をコピーします。

●設定を完了する際は、「保存」をクリックしてください。

■タンパリングアラーム

タンパリングアラーム検知機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。



項目	内容
タンパリングアラーム	タンパリング検知のオン/オフを選択します。 チェックボックスにチェックを入れることで、設定を有効にできます。

ルール設定

項目	内容
感度	タンパリング検知の感度を設定します。感度の数値が高いほど（スライダが右にあるほど）、検知しやすくなります。
持続期間（秒）	タンパリングが何秒以上続いた場合にアラームが発生するかを設定します。

- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

連動動作

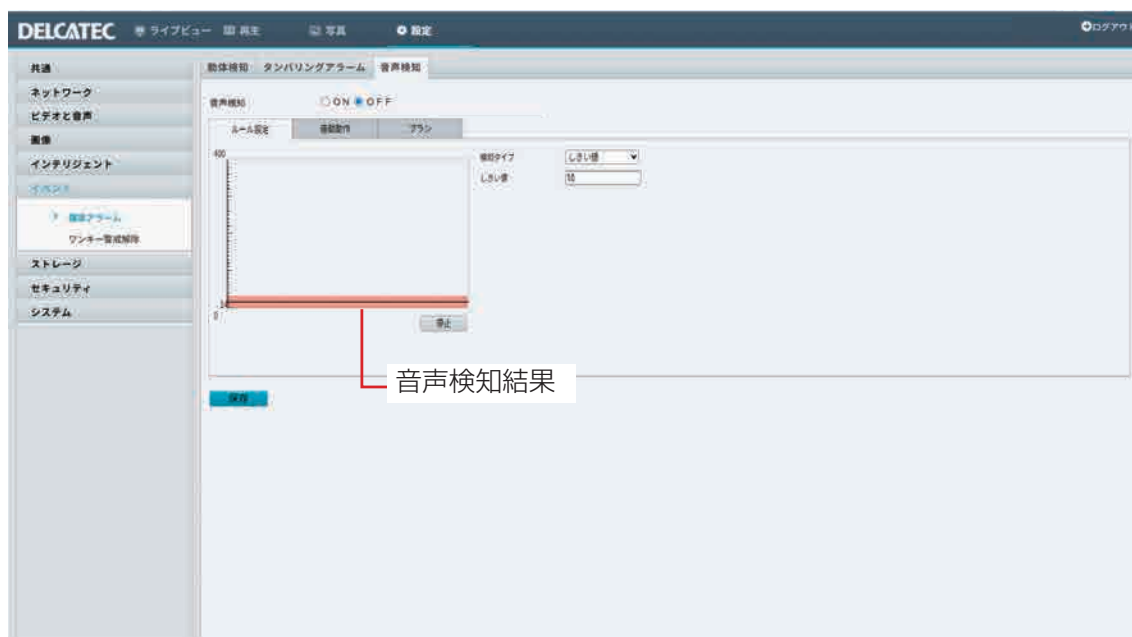
- ➡ 66 ページ「連動動作」

プラン

- ➡ 66 ページ「プラン」

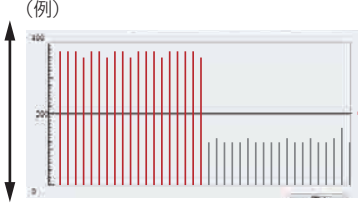
■音声検知

音量の上昇または低下が設定限度を超えるか、または入力音量がしきい値に達したときに、アラームを出力させます。設定前に、音声入力がオンになっていることを確認してください。



項目	内容
音声検知	音声検知のオン/オフを選択します。

ルール設定

項目	内容								
検知タイプ	<p>音圧を設定することができます。</p> <table border="1"> <tr> <td>突然の上昇</td> <td>音量の上昇量が設定値を超えると、アラームが発生します。</td> </tr> <tr> <td>音圧下降</td> <td>音量の低下量が設定値を超えると、アラームが発生します。</td> </tr> <tr> <td>音圧変化</td> <td>音量の増減量が設定値を超えると、アラームが発生します。</td> </tr> <tr> <td>しきい値</td> <td>音量がしきい値を超えると、アラームが発生します。</td> </tr> </table>	突然の上昇	音量の上昇量が設定値を超えると、アラームが発生します。	音圧下降	音量の低下量が設定値を超えると、アラームが発生します。	音圧変化	音量の増減量が設定値を超えると、アラームが発生します。	しきい値	音量がしきい値を超えると、アラームが発生します。
突然の上昇	音量の上昇量が設定値を超えると、アラームが発生します。								
音圧下降	音量の低下量が設定値を超えると、アラームが発生します。								
音圧変化	音量の増減量が設定値を超えると、アラームが発生します。								
しきい値	音量がしきい値を超えると、アラームが発生します。								
相違	[検知タイプ] に [突然の上昇]、[音圧下降]、[音圧変化] が設定されているときに、設定した値以上の音量差があるとアラームが発生します。								
しきい値	しきい値をマウスでドラッグして設定すると、音量が設定したしきい値を超えたときにアラームが発生します。 (しきい値をドラッグしても、検知タイプで設定した「しきい値」の値は変更されません)								
音声検知結果	<p>検知した音量がリアルタイムでグラフに表示されます。音声検知アラームが発生すると、赤い線が表示されます。線が長いほど音量が大きいことを表します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">(例)</div>  <div style="margin-left: 10px;"> <p>しきい値 ※このしきい値は目安です。 しきい値を超えても検知されない場合もあります。</p> </div> </div>								

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。



相違の数値は、入力された音声のレベルを基にした相対的な数値となります。

音声検知を ON にすると、実際に入力されている音声は音声検知結果のグラフに表示されます。グラフ内の数値がどこまで伸びるかを数値の参考として、相違・しきい値の数値を設定してください。

連動動作

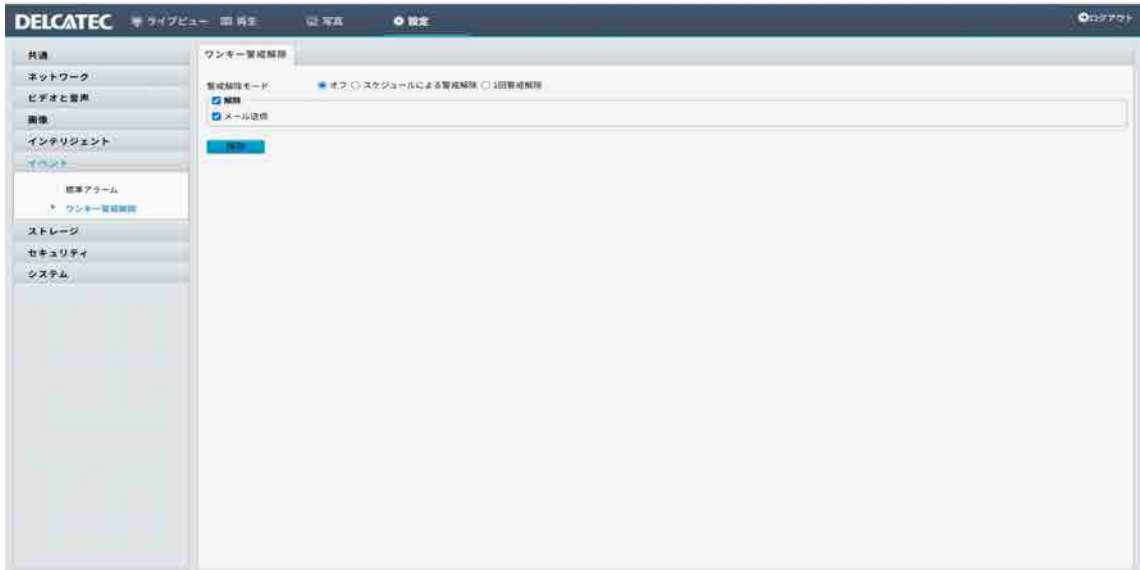
➔ 66 ページ「連動動作」

プラン

➔ 66 ページ「プラン」

ワンキー警戒解除

一時的に、アラーム入力/出力、メール送信を解除、アラーム音声を遮蔽（しゃへい）します。



項目	内容
警戒解除モード	警戒解除モードを選択します。 [オフ][スケジュールによる警戒解除][1回警戒解除]（初期設定：オフ）
解除	「メール送信」にチェックを入れると、警戒解除モードで設定したスケジュールに従って、メール送信を解除します。

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

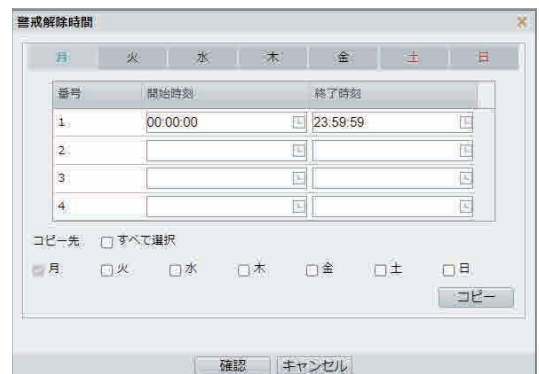
スケジュールによる警戒解除

警戒解除するスケジュールを設定します。

① スケジュールによる警戒解除を選択して、 をクリックします。



- ② 時間設定する曜日を選択します。
- ③ 警戒解除する開始時間と終了時間を設定します。
- ④ 他の曜日に設定をコピーする曜日を選択して、[コピー] をクリックすると、設定をコピーできます。



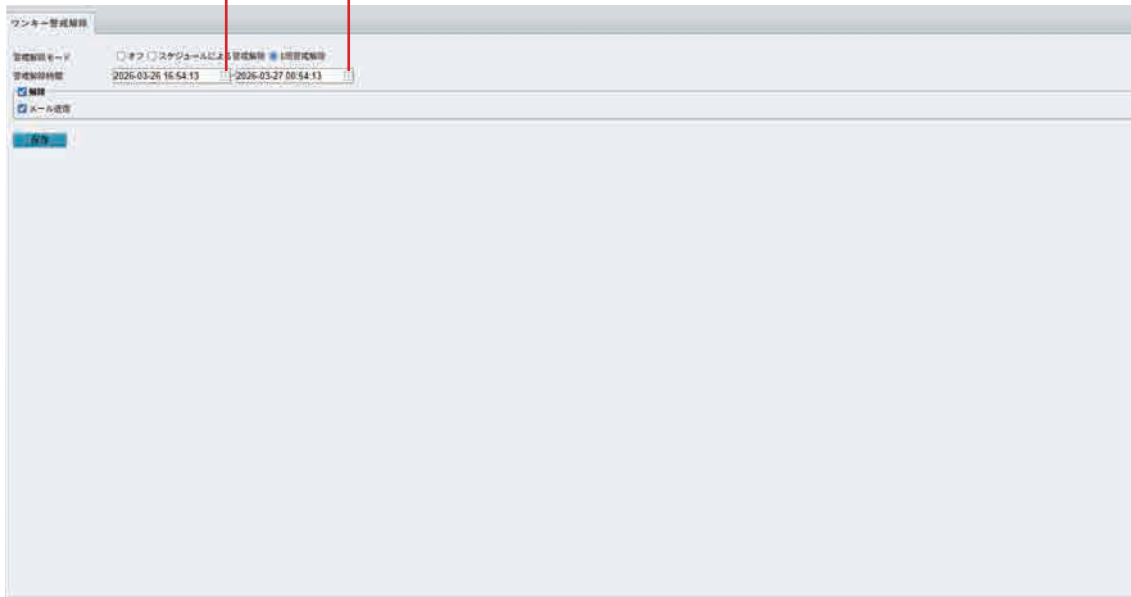
⑤ [確認] をクリックして終了します。

1 回警戒解除

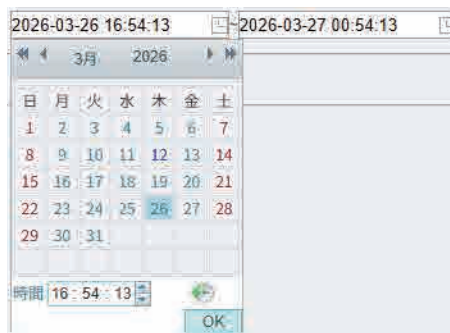
警戒解除する期間を設定します。

- ① 警戒解除時間の をクリックします。

クリックする クリックする



- ② 開始側と終了側の日付と時間を設定します。



- ③ [OK] をクリックして終了します。

ストレージ

ストレージ

本製品に取り付けられた microSD カードに映像を保存することができます。

重要 本製品の電源をオフにするときは、必ず【フォーマット】の右にある【有効】のチェックをはずして、SD カード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、SD カードのデータが破損する可能性があります。

ストレージ

記録媒体: メモリカード フォーマット 有効

ストレージ状態: 未装着

総容量 0 GB, 空き容量 0 GB.

容量割り当て

ビデオ(GB) 0 (残りの容量は画像の保存に使用されます)

スナップショット(GB) 0

映像ストレージ情報

ストレージポリシー マニュアル&アラーム録画 スケジュール&アラーム録画 アラーム録画のみ

録画容量不足の場合 上書き 停止

事後録画時間(秒) 60

適用

項目	内容	
記録媒体	フォーマット	本製品に接続されている microSD カードがフォーマットされます。フォーマットが完了すると、システムが再起動します。
	有効	チェックを入れると、microSD カードに録画をすることができます。
容量割り当て	ビデオ (GB)	映像に割り当てる容量を設定します。
	スナップショット (GB)	スナップショットに割り当てられる容量が表示されます。全体の容量から設定したビデオ容量を引いた容量になります。変更はできません。 ※ この設定項目は将来の機能拡張のために準備しています。現在は microSD カードへのスナップショット画像保存は行えません。

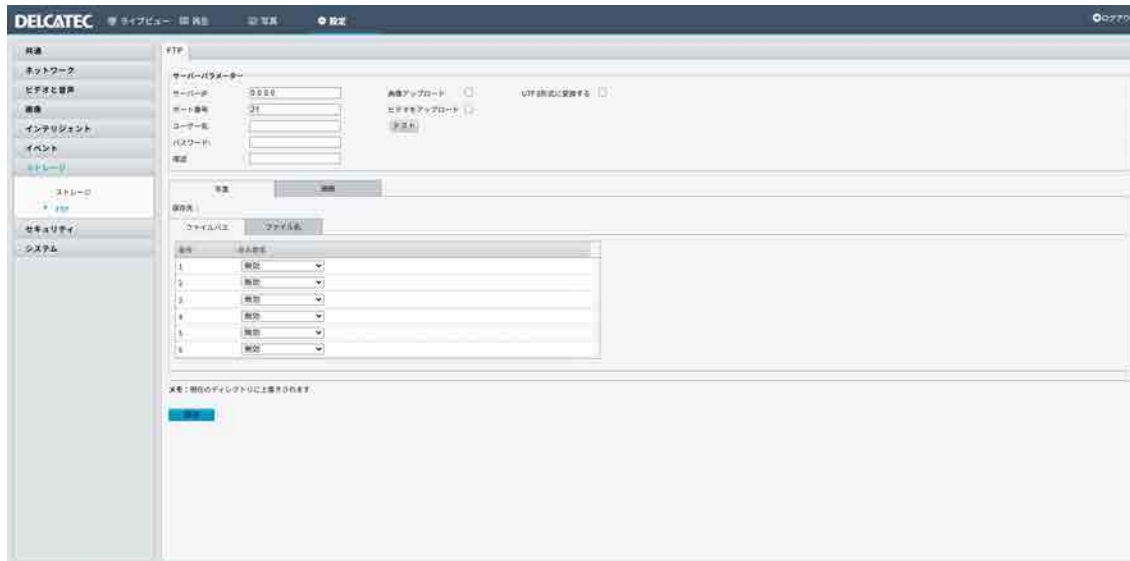
項目	内容
映像ストレージ 情報	<p>録画方式として「マニュアル&アラーム録画」、「スケジュール&アラーム録画」、「アラーム録画のみ」のいずれかを選択します。</p> <p>マニュアル&アラーム録画 常時映像を録画します。</p> <p>スケジュール&アラーム録画 設定したスケジュールに応じて録画をします。録画スケジュールを設定していないときに、設定したイベントアラームが発生すると、録画を開始します。選択するとスケジュール編集ウィンドウが表示されるので、スケジュール設定を行います。</p> <p>➔ 66 ページの「スケジュール編集ウィンドウ」</p> <p>アラーム録画のみ 設定したイベントアラームが発生したときだけ、録画を開始します。</p>
	<p>ストリーム 録画するストリームを選択します。</p>
	<p>録画容量不足の場合</p> <p>上書き 容量が一杯になると、古い録画データを消去して新しい録画データを上書きします。</p> <p>停止 容量が一杯になると、録画を停止します。</p>
	<p>事後録画時間 (秒) アラームによる録画の場合に、アラームが終了してから録画が継続する時間の長さを設定します。</p>

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

■ FTP

FTP サーバーに自動的に画像をアップロードすることができます。

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。



セキュリティ

ユーザー

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。設定方法は 36 ページを参照してください。

ネットワークセキュリティ

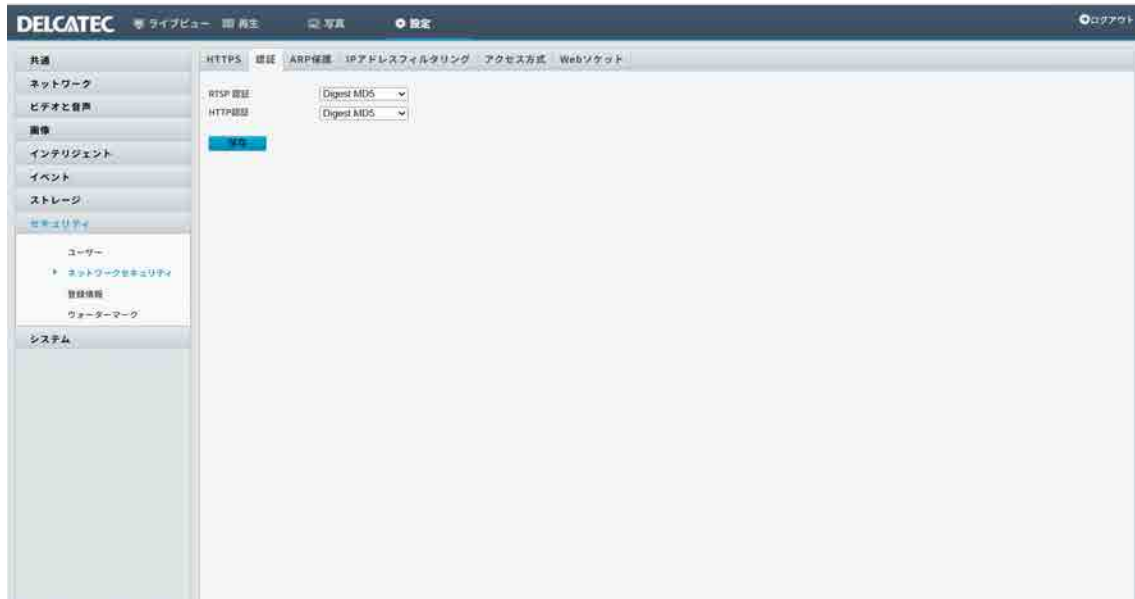
■HTTPS

セキュリティを確保するために HTTPS を使用することができます。本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。



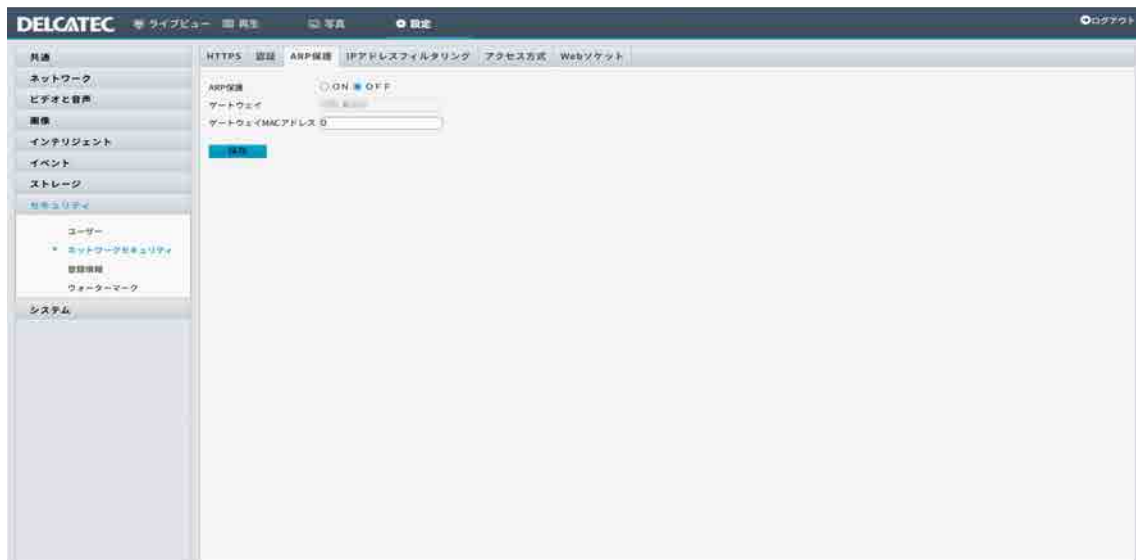
■ 認証

本画面は将来の機能拡張のため設定画面を用意しています。初期設定のまま変更せずご利用ください。



■ ARP 保護

ARP 保護機能を有効にすると、すべてのアクセス要求でゲートウェイの MAC アドレスを検証し、ARP 攻撃を防ぐことができます。

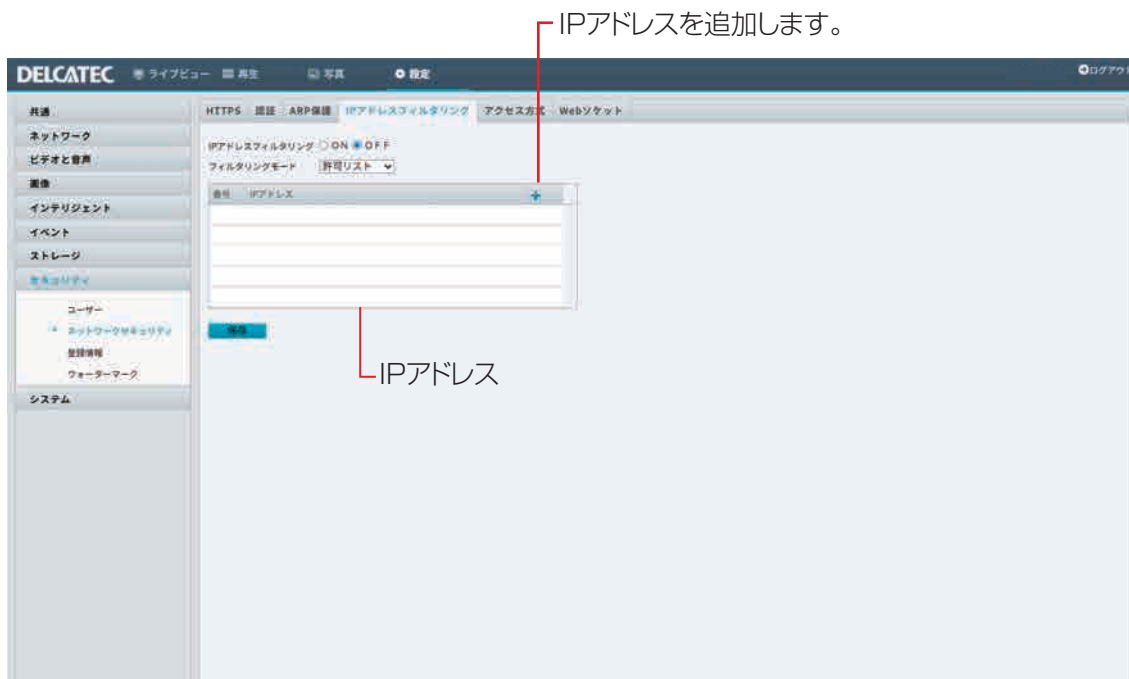


項目	内容
ARP 保護	[ON] にチェックを入れると、ARP 保護機能が有効になります。
ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスが表示されます (変更不可)。
ゲートウェイ MAC アドレス	ゲートウェイの MAC アドレスを入力します。

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

■ IP アドレスフィルタリング

指定した IP アドレスからのみアクセスを許可したり、指定した IP アドレスのアクセスを拒否するときに設定します。

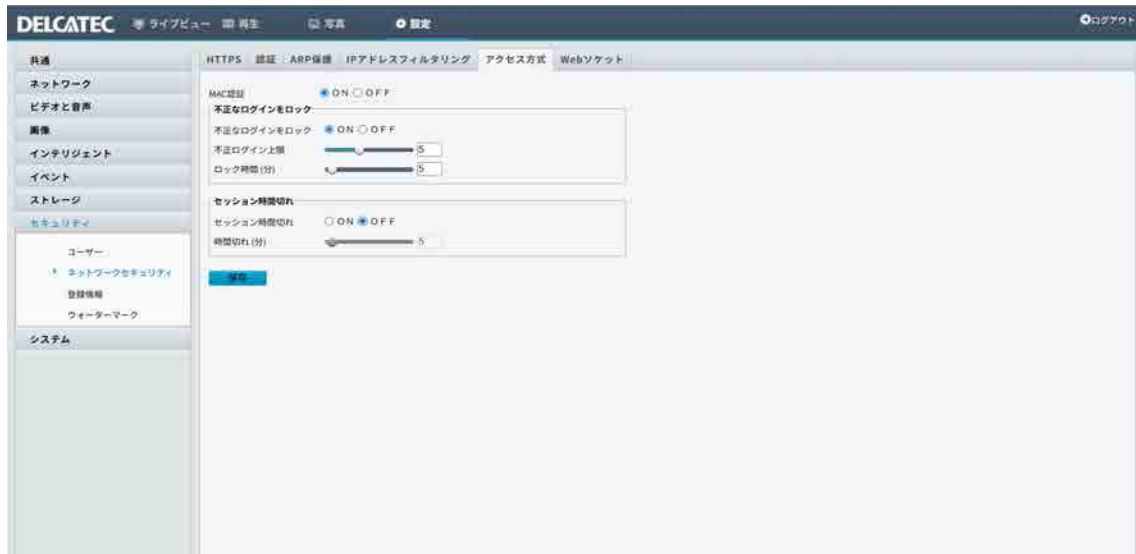


項目	内容				
IP アドレス フィルタリング	[ON] を選択すると、IP アドレスフィルタリング機能が有効になります。				
フィルタリング モード	<table border="1"> <tr> <td>許可リスト</td> <td>指定した IP アドレスのみのアクセスを許可します。</td> </tr> <tr> <td>アクセス拒否</td> <td>指定した IP アドレスのアクセスを拒否します。</td> </tr> </table>	許可リスト	指定した IP アドレスのみのアクセスを許可します。	アクセス拒否	指定した IP アドレスのアクセスを拒否します。
許可リスト	指定した IP アドレスのみのアクセスを許可します。				
アクセス拒否	指定した IP アドレスのアクセスを拒否します。				
IP アドレスリスト	<p>最大 32 個まで登録できます (重複不可)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各 IP アドレスの最初のバイトは 1 ~ 233 のみ指定できます。 ●4 番目のバイトは 0 にはできません。 				

●設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

■アクセス方式

アクセスするときの設定を行います。



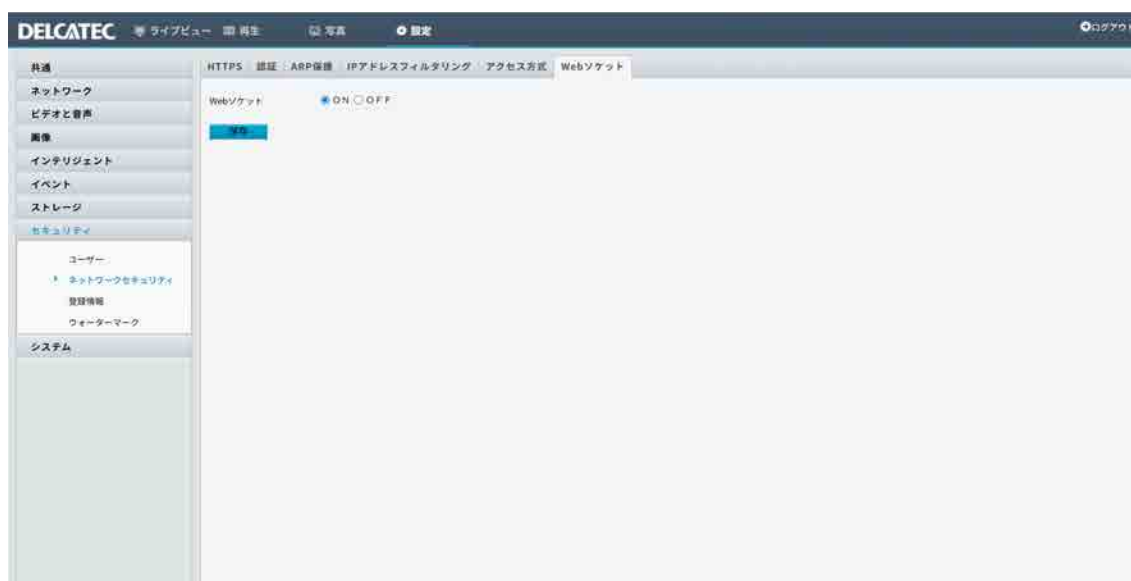
項目	内容	
MAC 認証	MAC 認証を使用するときに [ON] にします。	
不正なログインをロック	不正なログインをロック	ON にすると不正ログインの上限回数とロックする時間を有効にすることができます。
	不正ログイン上限	不正ログイン上限回数を、2～10 回の間で設定ができません (初期値：5 回)。
	ロック時間 (分)	ロックするまでの時間を 1～120 分の間で設定ができません (初期値：5 分)。
セッション時間切れ	セッション時間切れ	ON にするとセッション時間切れを有効にすることができます。
	時間切れ (分)	セッションが切れる時間を 1～120 分の間で設定ができません (初期値：5 分)。

● 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

■ Web ソケット

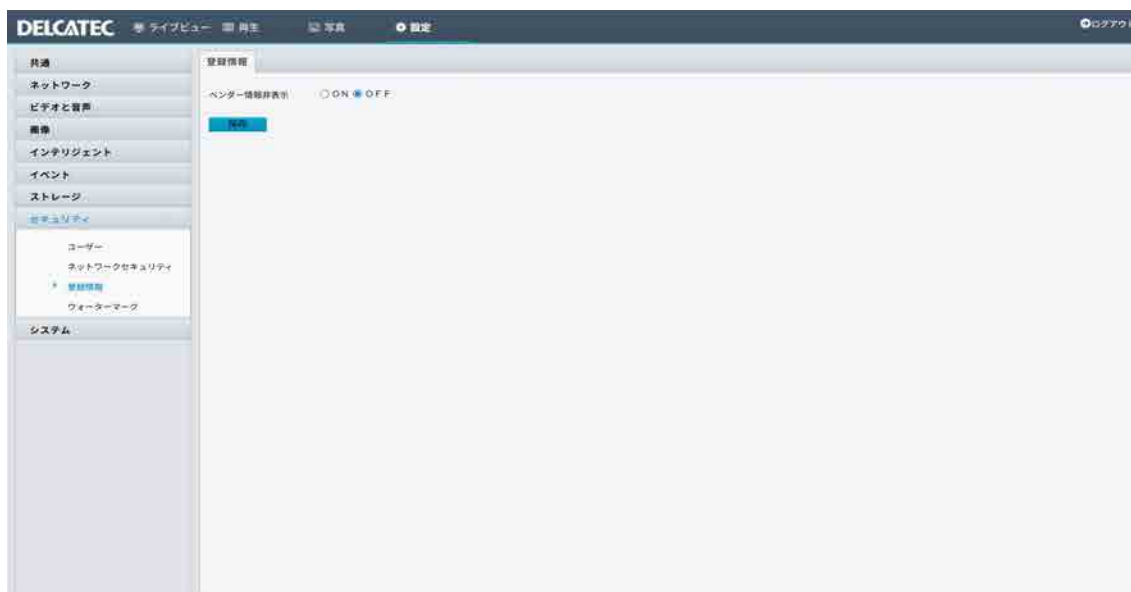
クライアントと Web サーバー間の双方向の通信をするためのプロトコルです。

本機能はシステム構築・運用業者向けに用意した機能のため、弊社からサポートは対象外です。



登録情報

ベンダー情報を非表示にします。

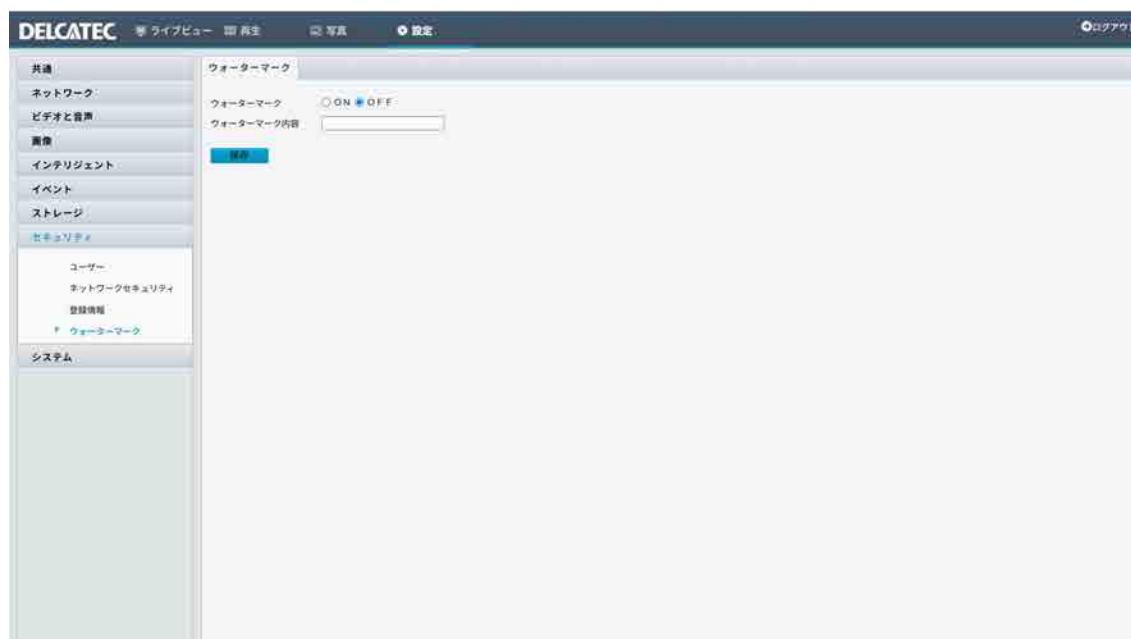


項目	内容
ベンダー情報 非表示	ベンダー情報を非表示にするかどうかを設定します。「ON」が非表示、「OFF」が表示です。

- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

ウォーターマーク

不正な変更を防ぐために録画映像に電子的な「透かし」を入れることができます。



項目	内容
ウォーターマーク	ウォーターマーク機能のオン／オフを選択します。
ウォーターマーク内容	透かしの内容を設定します。

- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

システム

時刻

本製品の時間設定を行います。
設定方法は 33 ページを参照してください。

デバイス情報

デバイスの登録名、ID を設定します。路上での設置場所など情報管理に使用できます。
※ 経度、緯度の表示方法は（度、分、秒）となります。

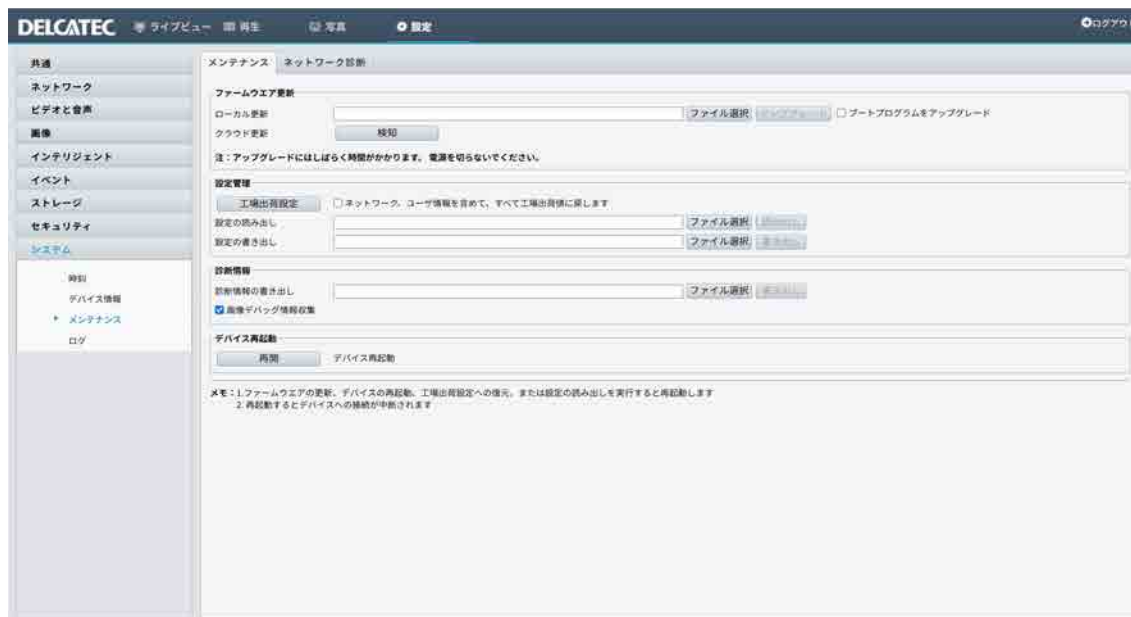
The screenshot shows the 'DELCATEC' web interface. The top navigation bar includes 'ホーム', 'ライブビュー', '再生', '写真', '設定', and 'ログアウト'. The left sidebar menu has categories: '共通', 'ネットワーク', 'ビデオと音声', '画像', 'インテリジェント', 'イベント', 'ストレージ', 'セキュリティ', and 'システム'. Under 'システム', '時刻' is selected. The main content area is titled 'デバイス情報' and contains two rows of input fields. The first row is for '経度' (Longitude) with a dropdown menu showing '度', '分', and '秒', and a value of '0.0000'. The second row is for '緯度' (Latitude) with a dropdown menu showing '度', '分', and '秒', and a value of '0.0000'. A blue '保存' (Save) button is located below the input fields.

- 設定を完了する際は、[保存] をクリックしてください。

メンテナンス

■メンテナンス

ファームウェアの更新やシステムを初期設定に戻すことができます。



項目	内容
ファームウェア更新	「ファイル選択」でファームウェアファイルを選択し、「アップグレード」をクリックしてファームウェアを更新します。 ブートプログラムもアップグレードしたい場合は、「ブートプログラムをアップグレード」にチェックを入れます。 「クラウド更新」は使用できません。
設定管理	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>工場出荷設定</p> <p>クリックすると、管理者のログインパスワード、ネットワーク設定、システム時刻を除いて、すべての設定が工場出荷時の設定に戻ります。</p> <p>「ネットワーク、ユーザー情報を含めて、すべて工場出荷値に戻します」にチェックを入れて、「工場出荷設定」をクリックすると、すべてを工場出荷状態（初期化）に戻します。</p> </div>
	<p>設定の読み出し</p> <p>書き出した設定を読み込んで復元します。</p>
	<p>設定の書き出し</p> <p>現在の設定を書き出します。</p>
診断情報	「ファイル選択」で保存先を選択して「書き出し」をクリックすると、診断情報を書き出します。 「画像デバッグ情報収集」にチェックを入れると、デバッグ情報も同時にダウンロードします。 診断情報のデータは、お客様にて確認することはできません。 製品不具合時に、弊社にてシステムの検証をする必要が発生したときに、診断情報データを取り出すことをお願いする場合があります。
デバイス再起動	「再開」をクリックすると、システムを再起動します。

※システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更を行っていた場合は、読み込み後に再設定してください。

はじめに

準備

運用・設定

その他

■ネットワーク診断

パケットのキャプチャーをします。

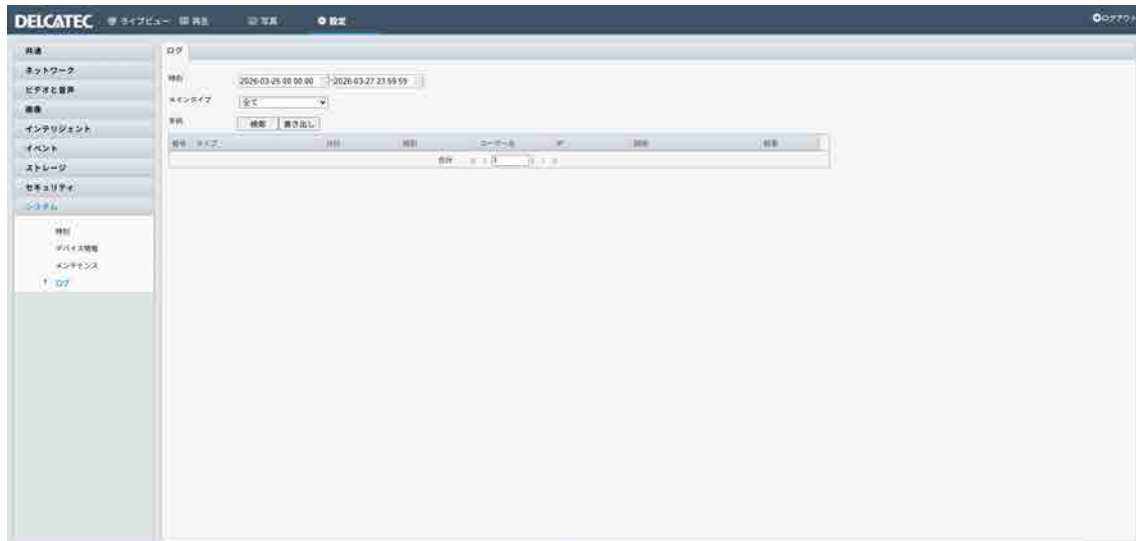
※ メンテナンス用のため設定は不要です。



項目	内容
NIC を選択	設定は不要です。
IP フィルター	
ポートフィルター	
カスタムルール	

ログ

ログを時刻（時間）、タイプ毎に検索、書き出しができます。

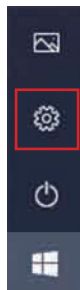


項目	内容
時刻	ログを検索、書き出しする時刻（時間）の範囲を指定します。
メインタイプ	ログを検索、書き出しするタイプを指定します。
手術	検索するか、パソコンに書き出しするかを選択できます。

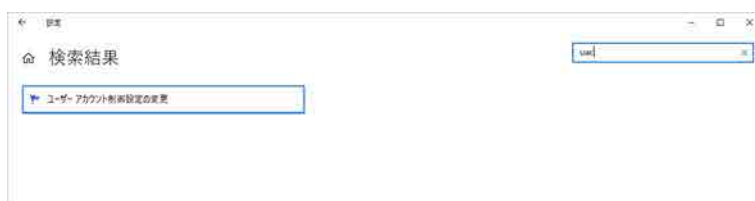
こんなときは

プラグインをインストールするメッセージが表示されず、かつライブビュー映像が確認できない

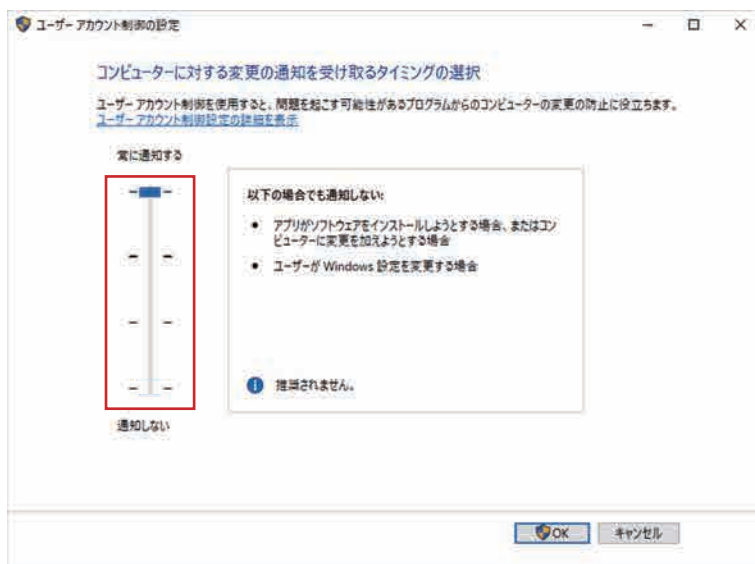
- 1 Windows のスタートメニューをクリックし、[設定] アイコンをクリックします。



- 2 検索欄に [uac] と入力して検索し、[ユーザーアカウント制御設定の変更] をクリックします。



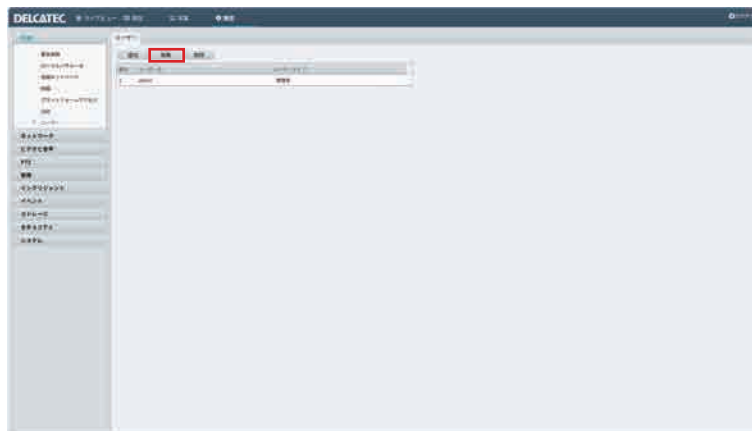
- 3 スライダを [常に通知する] に移動し、[OK] をクリックします。



- 4 再度管理画面にアクセスします。
- 5 プラグインをインストールするメッセージが表示されたらクリックし、画面の案内に従ってインストールしてください。

管理画面にアクセスするパスワードを変更したい

- 1 管理画面から [設定] - [共通] - [ユーザー] をクリックします。
- 2 [ユーザー] 画面が表示されますので、パスワードを変更したいユーザーを選択し、[編集] をクリックします。



- 3 [ユーザー追加] ([編集]) 画面が表示されますので、[古いパスワード] 欄に現在のパスワード、[パスワード] と [確認] 欄に新しいパスワードを入力し、[確認] をクリックします。

項目	内容
古いパスワード	現在設定されているパスワードを入力します。
パスワード	9～32文字でパスワードを設定します。 英数字（大文字、小文字）とスペース以外の記号を入力できます。 パスワードの強度が下に表示されます。 ※パスワード入力欄の下側にパスワードの強度が表示されます。「強」になるように、必ず英字と数字・記号を組み合わせたパスワードを設定してください。
確認	確認のためパスワードを再度入力します。

ネットワークカメラの映像に横縞（フリッカー）が出る

蛍光灯の光などが映像に入ると、以下のような横縞が発生する場合があります。（図はイメージです）



多くの場合、横縞が上または、下方向に動きます。

フリッカーは、蛍光灯の状態、設置環境などで発生パターンが異なります。状態によっては100%抑制することができない場合があります。また、カメラを設置する際、まず照明の位置、種類を確認し、フリッカーの出やすい設置場所を避けることが一番の有効な回避手段となります。設置場所や照明の種類を変えられない場合は、以下の方法をお試しください。

●【露出モード】を以下のように設定すると軽減することがあります。

Web 管理画面：[設定] — [画像] — [画像] — [露出] タブ

※ DX アンテナ製ネットワークレコーダーに接続して使用している場合は、ネットワークレコーダーの設定画面から設定してください（設定方法はネットワークレコーダーの取扱説明書をご参照ください）。



「露出モード」を設定しても改善しない場合は、「補正」を「100」にしてお試しください。
WDR(明暗補正)をON にするとフリッカーがより目立ちます。必須でない場合は、OFFに設定してください。

地域	使用環境	設定値
東日本 (50Hz エリア)	屋外	変更なし
	屋内	屋内 50Hz
西日本 (60Hz エリア)	屋外	変更なし
	屋内	屋内 60Hz

ライブ映像が表示されない

パソコンのファイアウォール機能を停止してから再度管理画面にログインしてください。

ネットワークレコーダーに接続しているカメラの Web 設定画面にアクセスしたい

カメラの基本的な操作・設定は、ネットワークレコーダーの設定画面から行ってください。

(設定方法はネットワークレコーダーの取扱説明書を参照してください。)

ネットワークレコーダーの設定画面では設定が行えない microSD カード設定などを行う場合に、以下の方法でカメラの Web 設定画面にアクセスしてください。

① ネットワークレコーダーの Web 設定画面にログインします。

- 管理用 PC で Microsoft Edge または Google Chrome を開き、以下のページを表示します。

<http://192.168.1.30>

ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

- 管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など同じネットワークセグメント内に設定し、ブラウザから上記アドレスにアクセスしてください。

- DHCP サーバーなどがあって IP アドレスが変更になっているときは、ネットワークレコーダーに割り振られている IP アドレスでアクセスしてください。

IP アドレスを確認するときは、下記 URL より Guard Tool をダウンロードしてください。

<https://dxantenna-product.dga.jp/detail.html?id=2691>

② 「カメラ選択」 - 「カメラ選択」画面を開きます。



③ 該当カメラの「アクセス」をクリックします。

該当カメラの Web 設定ログイン画面が表示されます。

- ブラウザは管理者モードで実行してください。プラグインのインストールと実行が正しく行えない場合があります。

- この方法でログインする場合、1 台のカメラだけがライブビュー画面を表示可能です。複数カメラのライブビュー画面を表示することはできません。

- ネットワークレコーダーと組み合わせて使用する場合にカメラの設定画面でネットワークレコーダーの設定と矛盾する設定を行った場合、意図しない動作をする可能性があります。ネットワークレコーダーと組み合わせて使用する場合は、カメラの設定画面から設定変更することは避けてください。

使用上のご注意

〈対応ネットワークレコーダー〉

- 本製品は、DX アンテナ製の CNE3R シリーズネットワークレコーダーに対応しています。

〈時計機能〉

- 本製品は、日付や時刻などの時計情報が保持されません。使用するときには、ネットワークレコーダーと同期をとる設定（ネットワークレコーダーの工場出荷時設定）か、パソコンなどから時刻設定をする必要があります。

〈お手入れ時〉

- お手入れするときは電源をオフにしてください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用・取り扱いについて〉

- 長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異状がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があります。故障、事故につながる可能性があります。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。（microSD 内のデータも含む）
- 本製品に電源スイッチはありませんので、電源を切る場合は、PoE 給電装置の電源をオフにしてください。
- 本製品の取扱いは慎重にお願いいたします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- 筐体に強い衝撃や振動を与えますと、故障、浸水の原因になります。
- ご利用のネットワーク環境、PC 性能、被写体、アクセス数により、画像更新速度が遅くなる場合があります。
- ネットワークカメラを小刻みに振動する場所（たとえば振動する機器の近くなど）へ設置した場合には、周期的に画面が縦方向に伸び縮みするようにゆがむ現象が発生することがございます。これは撮像素子に CMOS センサーを使用していた場合に発生する特有の現象であり、画面の周期的な動きとイメージセンサーからの画像の読み出しタイミングとの関係により発生するものですので、ネットワークカメラの異常ではありません。設置状態を再確認し、ネットワークカメラ本体を安定した場所に設置すると現象が軽減します。
- 画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CMOS センサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。
- 動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。
- コネクタ部は自己融着テープ（別売）の上にビニルテープ（別売）で防水処理を行ってください。
- 設置やお手入れの際は電源をオフにしてから行ってください。
- 設置したケーブルは、日光や雨風が直接当たらないようにモールなどで覆ってください。
- カメラの解像度を 4 対 3 の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。
- 本製品の識別および電源、その他の表示は機器に貼り付けてあるラベルをご確認ください。
- 高温・多湿の場所、直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。

- ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 外的要因などにより、まれに録画できない場合があります。随時、録画状態の確認をしてください。

〈ブラウザ録画について〉

- ブラウザを使った録画は、設置のときの映像の確認などに使用するものです。監視映像の録画には、ネットワークレコーダーをご使用ください。

〈microSD の取り扱いについて〉

- microSD カードを取り外す際は必ず電源を切ってから取り外してください。
- 本製品では、microSD カードのホットスワップに対応していません。microSD カードを交換する場合には、本製品の電源を切って交換し、電源投入後に、microSD カードのフォーマットを実行してください
- microSD カードを使用する場合は、本機で microSD カードをフォーマットしてから使用してください。フォーマットすると、記録されていた内容は消去されます。未フォーマットの microSD カードや本機以外でフォーマットした microSD カードを使用すると、正常に動作しないことや、性能低下することがあります。フォーマットの仕方は、➡ 22 ページ「録画を開始する」をお読みください。
- 一部の microSD カードは本製品で使用すると正常に動作しないことがあります、書き込み速度などを確認し、設置前に事前に録画ができることを確認してから設置することをお勧めします。
- 本製品の電源をオフにするときは、必ず SD カード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、SD カードのデータが破損する可能性があります。



この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

設置上のご注意

- 設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
- 施工時、天井や壁などに傷や破損など起きても責任は負いません。
- 高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈防水対策する場合の注意〉

防水対策をする場合は、以下の点にご注意ください。

- ケーブル先端を露出させないでください。
- 水の中にケーブルコネクタを入れないでください。
- 一度取り外したネジ類は確実に締めてください。

〈電源に関する注意〉

- 本製品に電源スイッチはありません。設置工事の際は、PoE 給電装置の電源をオフにするか、LAN ケーブルを外してください。

〈本製品の取り付け場所に関する注意〉

- 本製品は建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。また、天井に取り付ける際には、お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、十分に強度がある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- 市販の防犯カメラ取付金具や他の金具などを使用する際は、本製品に適した施工をしてください。
- 石こうボードや木部には強度が弱いので取り付けしないでください。やむを得ず取り付けられる場合には、十分な補強を施してください。

〈設置場所について〉

- 直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態（防水対応モデルでは雨天で雨が当たるのは問題ありません、滝のように常時流水がかかる場所を避けてください）で使用してください。
- 照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。
- プライバシーを侵害する映像が映る場所への設置はしないでください。（トイレ、更衣室、道路など）
- 以下のような場所での設置および使用はできません。直射日光が当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）／ほこりの多い場所（防塵対応モデルにおいてもレンズへの粉塵付着で劣化や傷の原因となります）

〈設置作業前の注意〉

- 当社のネットワークカメラおよびネットワークレコーダーを使用になるネットワーク回線を、他の目的（一般業務など）のネットワーク回線と混在してご利用いただくことは、保証いたしません。
- 設置する際は、市販のアタッチメント金具やベースカバーの使用をお勧めします。
- 設置には、付属の設置用ネジセットまたは、取り付け場所の材質に合わせたネジ等を使用してください。
- レンズまたはカバーに付いている保護ビニールは施工中に外すと傷など付く恐れがあるので設置後に外してください。

〈取り付けネジの締め付けに関する注意〉

- ネジは取り付け場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ネジの破損の原因となります。
- ネジはまっすぐ締めてください。締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

〈雷に対する保護に関する注意〉

- LAN ケーブルを使って本機をネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

- テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランス、電力線など）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

〈PoE による電源供給に関する注意〉

- DX アンテナ製の CNE3R シリーズネットワークレコーダー、および PoE 対応のハブ、または給電装置を使用してください。

〈時刻設定に関する注意〉

- 時刻の設定については、➡ 33 ページ「時刻」をお読みください。

〈使用しなくなった際の注意〉

- 本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、DX アンテナ株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。